

2 中国海関接収問題

699

昭和12年7月19日

在天津堀内総領事より
広田外務大臣宛(電報)

作戦行動開始により海関接収を行う必要が生じた場合にも邦人職員の接収協力は実施せぬよう軍側へ注意喚起について

天津 7月19日午後

本省 7月19日夜着

第四七三號

軍側ニ於テハ作戦行動開始ノ上ハ占領地行政ヲ布キタル際ノ日本側ノ手ニ依ル海関接収及占領地行政ヲ布カサル場合ニ於ケル支那側(例ヘハ治安維持令^會様ノモノ)ノ手ニ依ル海関接収ヲ立案シ居タルニ付(何レノ場合モ佛租界内ノ現海関ニハ手ヲ觸レス第一特區邊ニ別ノ海関ヲ作ル案ナリ)萬一其ノ場合ニ於テモ現海関邦人職員ハ飽迄支那海關ニ留マリ税關長ノ命ニ從ハシメ我方トシテ之ヲ引抜クカ如(キコト?)ナキ様軍側ニ話シ其ノ同意ヲ得置キタリ

從テ上海發大臣宛電報第五四三號末段ノ通り當地海關職員ハ差當リ休暇ヲ取ラシムル必要ナシト存セララル

右上海電上海ヨリ青島ヘ轉電アリ度シ

支、上海、北平、青島ヘ轉電セリ



700

昭和12年8月19日

在上海岡本総領事より
広田外務大臣宛(電報)

中国海関は日本軍の軍事行動を阻害する措置は執らないので海関行政の独立を尊重方総稅務司署から非公式要請について

上海 8月19日午後

本省 8月19日夜着

第一〇〇〇號(極秘)

往電第九九二號ニ關シ

川越大使ヨリ

十九日「カボン」本使ヲ來訪右ト同様ノ内話ヲ爲シタルカ

其ノ際ノ會見談中左ノ通り

一、「カ」先ツ自分ハ豫テ「メーズ」カ日本大使館ヲ頼リニシ居ルヲ承知シ居ルヲ以テ「メ」ハ未タ歸滬セサルモ其ノ意ヲ體シ非公式且極祕ニ來訪シタルモ海關ハ關稅ノ徵收及公債ノ支拂ヲ本務トシ或程度ニ支那政府ヨリ獨立シ居ル國際機關ナルヲ以テ右本然ノ任務遂行ニ付テハ日本軍事當局ヨリモ援助ヲ得ルコトト致度シ一方稅關ニ於テモ日本ノ軍事行動ヲ阻害スルカ如キ措置ハ執ラサル方針ニ付宜敷ク御願シ度ク軍部ノ希望乃至苦情等アラハ隔意ナキ懇談ニ依リ解決ヲ圖リ度キ旨述ヘタルニ付本使ハ是等ヲ了承スルト共ニ萬一稅關ニ於テ不都合ナル行爲アル場合ハ軍部トシテ夫レ相當ノ自衛手段ヲ執ルノ已ムナキニ至ルコトアルヘキニ付右含ミ置カレ度キ旨注意シ置ケリ

二、本使ヨリ關稅收入ノ實情ヲ尋ネタルニ對シ「カ」ハ上半年ハ附加稅、噸稅ヲ含メニ億二千萬弗ノ稅收アリ又八月モ公債及賠償金支拂等ニ差支ナキモ日支間ノ軍事長引ケハ九月ハ早速困ル狀態ニテ追テハ關係國間ノ問題トナルニアラスヤト考ヘ居ル旨答ヘタリ

三、「カ」ハ「リースロス」カ二年前來支シタル際ハ問題ヲ

日本ニ有利ニ解決スヘク全權ヲ委サレ居タルニ拘ラス日本及本國外務省方面ノ支援ヲ得サリシ爲僅ニ幣制問題ノミ解決シ歸英シタルモノナル旨語レルニ付法幣發行額及準備額等ニ付情報ヲ求メタル處「カ」ハ是等ノ點ニ付「ロジヤース」ハ一切外部ニ洩ラササルヲ以テ數字ハ知ラサルモ「ロ」ハ法幣維持ノ見込ナキニ至ラハ直ニ歸英スヘキ旨内話シ居ルニ付右ヲ觀測ノ對象トセラレ「ロ」カ上海ニ滯在中ハ法幣ノ維持可能ナルモノト認メラレ間違ナカルヘキ旨述ヘタリ

701

昭和12年8月22日

在天津堀内總領事より
広田外務大臣宛(電報)

軍の要望に基づく海關管理案に関し海關側との交渉開始方請訓

別電 昭和十二年八月二十二日發在天津堀内總領事

より広田外務大臣宛第八一〇号

右海關管理案

第八〇九號(極秘)

貴電第二七〇號ニ關シ

天津 8月22日後發
本省 8月22日夜着

軍ハ海關ヲ通シテ支那側(例ヘハ外國租界内ノ不逞分子)ニ武器彈藥等カ供給セラルルヲ防止スル必要アリ又既ニ事實上全面戰トナリタル今日軍費ニ利用サルル惧アル稅收力南送セラルルヲ防止スルハ當然ナリトノ理由ニテ海關ノ管理ヲ絶對必要ト認メ居ル處其ノ所謂管理トハ大体別電第八一〇號ノ如キ相當「リーゾナブル」ナモノニシテ必スシモ海關機構ヲ破壊スルモノトハ言ヒ難ク滿洲海關接収前上海大使館ノ「メーヅ」等ノ協議セル所以上ニ出テサルヲ以テ此ノ程度ノ案ナラハ當地海關側又ハ總稅務司ト協議シテ妥結ノ見込全然ナキニハアラサルヘシトモ存セラル(過般當地稅關長「マイヤーズ」ハ守屋參事官ト會食ノ際個人的意見トシテ Dual Tariff ヲ採用セス海關ノ「インテグリティ」ヲ害セサル提案ナル限り天津海關トシテ之ヲ應諾セサルヲ得サルヘシト考ヘ居ル旨ヲ内話シ大連式ノ接収阻止方ヲ希望セル由ナリ)

素ヨリ右交渉ノ爲ニハ海關側カ之ニ應セサル場合ハ軍ハ冒頭記載ノ目的ヲ達スル爲租界外ニ於テ有效ノ措置ヲ執ルヘク其ノ結果天津(海關)ハ英佛租界内ニ罐詰ニセラレ租界外ニ於ケル一切ノ行動ヲ阻止セラルルコトト成ルヘキ旨ヲ仄カシ且果シテ先方カ之ニ應セサル場合ハ右ノ如キ措置ヲ實行スルヨリ外道ナカルヘキモ一應前記ノ如キ趣旨ニテ當地又ハ上海ニ於テ内々交渉ヲ試ミルコトト致度ク何分ノ儀貴見至急御回電ヲ請フ

軍側ト打合濟

上海、北平へ轉電セリ

(別電)

天津 8月22日後發
本省 8月22日夜着

第八一〇號(極秘)

一、稅關長以下ノ外人職員及下級支那人職員ヲ變更スル必要ナシ

二、稅率ヲ變更スル必要ナシ

三、稅收中外債擔保部分ハ送金ス

四、外債擔保部分以外モ接收スルヲ要セス事變落着迄南送ヲ停止セシム(例ヘハ日本側銀行ニ預金セシム)

五、治安維持會ノ任命スル海關監督ヲ承認セシム(現海關監督孫維東ハ二十九軍系ニシテ天津事件以來英租界ニ潛伏シ事務ヲ執リ居ラス)

六、武器ノ輸入禁止等或種軍事的ニ必要ナル最少限度ノ措置ヲ認メシム(武器輸出禁止ハ銀移出禁止等ト同様現行規則ヲ變更セスシテ海關監督ノ加印拒否ニテ目的ヲ達シ得ルニアラスヤト思考セラル)

七、冀東貿易ハ自然消滅ニ委スモ差支ナシ軍需品ニ藉口スル密輸等ハ之ヲ防止ス
上海、北平ヘ轉電セリ

702 昭和12年8月22日
在天津堀内総領事より
広田外務大臣宛(電報)

海関側との内交渉開始の必要性について

天津 8月22日後発
本省 8月22日夜着

第八一一號(部外極秘)

(1) 往電第八〇九號ニ關シ

軍ノ海關ニ對スル何等カノ措置ノ希望ハ極メテ切ナルモノアリ當方係官ニ對シ再三軍ノ意見ヲ中央ニ對シ支持方申出アリタルニ依リ軍ノ希望スル最少限度ヲ確メテ協議ノ上冒頭往電ノ通り請訓セル次第ナリ

殊ニ冒頭往電起草以來外債擔保以外ノ稅ニ付テモ之ヲ單ニ積立テ置クノミニテ治安維持會等ニ利用セシメサルコトニ付軍ノ言質ヲ得タル次第ナルヲ以テ此ノ點ハ海關トノ交渉ヲ容(見)ナラシムヘキノミナラス貴電第二七〇號ノ如ク過早ニ治安維持會ノ基礎ヲ固メ時局收拾ニ關スル交渉ヲ困難ナラシムル懸念ナキヤニ思考セラル寧口貴電第二七二號ノ如ク「軍ニ於テ直接管理スルハ不可ナリ」トノ方針ノミニテハ却テ治安維持會ヲシテ接收セシムル傾向ヲ助成スル惧アルニ付軍力軍事ニ必要ノ最少限度ヲ一時的ニ爲ス建前ニテ外交機關ニ於テ海關側ヲ納得セシメタル上ニテ之ヲ實行スルコト然ルヘシト存セラル

(2) 一方當地ノ實狀ハ既ニ冀東貿易様ノモノヲ計畫セルモノアリ(往電第六九二號及第六七三號)又塘沽ニ於テハ海關出張所ハ事實上活動シ居ラス無斷通關自由ニシテ(唯塘沽ヨリ

ノ輸送不自由ノ爲無稅商品ノ流入ナキノミナルモ天候回復セハ自動車輸送可能トナルヘシ天津ニ於テモ第三特區邊ヘハ殆ト自由ニ陸揚ケシ得(小型汽船ニ依リ輸送シ來レル往電第七一二號麥粉ノ如キ現ニ無斷陸揚セリ)唯目下輸送ノ困難ナルト軍側ニテ當館ト打合ノ結果食料品以外ヲ無稅輸入セシメサル方針ヲ執リ居ルカ爲脫稅品ノ流入少キ有様ナルモ軍ノ意思次第ニテ直ニ海關ノ英佛租界外ニ於ケル活動ヲ停止セシメラルヘク現ニ先般責任アル軍係官ヨリ塘沽海關出張所附近ニテ發砲シテ之ヲ逃ケ出サシムル計畫ヲ相談シ來リタル程ナレハ海關管理ノ軍側希望ニ何トカ色ヲ着ケテ海關ヲ「フアंकシヨン」セシムルニアラサレハ天津ニ無海關(商業的ニハ無政府的)状態ニ陥ラシムル惧アリ此ノ邊ノ事情ヲモ御考慮ノ上冒頭往電ニ對シ(一)應交渉ヲ試ミ其ノ成否ノ決スル迄何等強力の措置ヲ執ラサルコトトスルカ又ハ(二)直接タルト間接タルトヲ問ハス一切海關ノ管理ノ如キハ考ヘサルコトトスルカ何レニスルモ當方宛御回訓ト竝行シテ軍中央ヨリモ天津軍ニ更メテ方針ヲ電報セシムル様御取計相煩度シ

支、北平へ轉電セリ

703

昭和12年8月28日

在天津堀内總領事より
 広田外務大臣宛(電報)

わが方の海関管理案を天津税関長へ提示について

天津 8月28日後発

本省 8月28日夜着

第八四二號

貴電第三二二號ニ關シ(天津ニ於ケル海關管理ノ件)

本二十八日本官税関長ノ來訪ヲ求メ往電第八一〇號ノ趣旨ヲ敷衍説明(但シ軍側ノ希望モアリ右往電(一)ニ「成ルヘク邦人職員ノ増員ヲ計リ且支那職員中政治策動ヲ爲ス者等ハ税関長ニ於テ責任ヲ以テ取締ルヘキコト」ヲ追加シ(四)末段日本銀行へ預金方ハ之ヲ強調シ(六)末段ノ括弧内ニハ言及セス)セル處税関長ハ自分ハ尤モナル要求ト存スルニ付「メーゾ」ニ請訓ノ上回答スヘシト答ヘタリ

尙税関長ハ私見トシテ税関トシテハ支那ノ對外的又ハ内部的ノ紛亂ニ超然トシ内外債支拂等ノ「コンマーションヤル、クレヂット」トシテノ機能ヲ果シ政費、軍費等ヘノ流用ハ外交團ノ承認ヲ要スル北京政府時代ノ制度ニ歸スルコト最モ望マシク天津及秦皇島税関ニ關スル本件要求ノミナラス青

島、上海等へモ戰亂ノ波及スル場合ヲモ考慮シ何トカ前記ノ如キ制度ト爲ス要アリト考フルニ付其ノ旨モ「メーツ」ニ上申スル積リナリト述へ居タリ

冒頭貴電ノ次第ハアルモ岸本邊ヲ通シ「メーツ」ニ我方ノ意ノアル所ヲ納得セシムル様上海ニテ措置セラルレハ好都合カト存ス

北平、上海へ轉電セリ

704 昭和12年9月11日

在天津堀内総領事より
広田外務大臣宛(電報)

わが方の海関管理案に対する天津税関長の回答について

天津 9月11日後発
本省 9月11日夜着

第九一六號

往電第八四二號ニ關シ

十日税関長英國總領事ト共ニ他用來訪ノ節英國總領事ト同席ノ際ニ本件ニ言及シ差支ナキヤヲ本官ニ質シタル上左ノ趣旨ヲ述へタリ

「IGヨリ日本側ノ申出ハ慎重考慮中ナルモ兎ニ角」インパス」ヲ「アボイド」スヘキ旨ノ中間の回答アリ自分トシテハ更ニ決定的訓令ナキ限り日本側申出ヲ正式ニ受諾スル譯ニ行カサルモ自分ハ現ニ事件以來稅收ノ南送ハ差控ヘ居リ又輸出入禁止等ノ告示モ紛争ヲ生スル惧アルモノハ其ノ旨中央ニ申シ送り當地ニ於ケル告示ハ差控ヘ居ル次第ニシテ何トカ日本側トノ關係ヲ調整シテ當地ノ商業ヲ恢復セシメ度シト考へ居リ日本側ノ申出ノ内治安維持會カ新ニ海關監督ヲ任命スル件ノ如キハ異存ナシ(本官ノ質問ニ對シ治安維持會ノ任命スル海關監督ヲ認メテ從來ノ海關監督ト同様ノ權限ヲ認ムル意ナリト説明セリ)唯稅收ノ問題ハ自己限りニテ處置シ得ス尤モ日本人ノ納入スル稅ハ全部正金銀行ニ預ケ入レ稅關ハ之ヲ引出ササルコトトシ右以外(外支人ノ納稅)ハ從來通り香上ニ預ケ入レ之ヨリ經費ヲ支出シ且外債支拂等ノ爲南送シ得ルコトトスル案ナラハ自己限りニテ措置シ得ヘシ

(2)蓋シ稅收ヲ全部一旦日本側銀行ニ預ケ入ルルコトハ「カストデイアンバンク」ノ變更ニシテ外交的ノ手續ヲ要シ自己限りニテ實行出來サルモ右ノ案ナラハ法幣拂底ノ爲日本商

人ノ納税ニ支障ヲ來タシ居ル對策即チ金融上ノ「アブノーマル」ナル事態ノ對策トシテ自分限りニテ取計ヒ得ヘシ日本人ノ納税額ヲ預金スルコトハ全稅收ノ五割乃至六割ヲ保留シ置クコトトナルニ付事件以來激減セル收入ヨリ經費（月十一萬五千弗ヲ要スル由）及外債擔保部分ヲ控除セルモノヲ保留スルヨリモ却テ日本ニ有利ナルヘク外債負擔部分ヲ如何ニ決定スルカノ面倒ナル論議ヲモ避ケ得ヘシ」云々右ニ對シテハ本官ヨリ我方トシテハ外債擔保部分以外南送セシメストノ原則ヲ重視シ居リ且其ノ實際ヲ確證シ得ルカ爲稅收全部ノ日本銀行ヘノ預ケ入レヲ希望シ居ルモノニ付右ノ案ハ應諾困難ナルヘシト答ヘ置キタルカ目下軍側ト共ニ右ノ案カ我方ノ申出ニ比シ實際上如何ナル結果トナルカヲ研究中ナリ尙法幣不足ノ（脱？）方針トシテ邦商ヲシテ正金ノ小切手ヲ以テ納税シ海關ハ右小切手ヲ正金ニ預金シ置クコト（右小切手ヲ法幣ニテ支拂フヲ要セハ銀行ハ法幣ノ準備ヲ要スルニ付無意義トナル）ヲ館員ヨリ海關ニ「サジエスト」シ置キタル經緯アリ稅關長ハ右我方ノ希望ヲ容ルルト共ニ「カストデアンバンク」ニ付面倒ナル問題ヲ起スヲ避クル意味合ヨリ前記ノ考案ヲ申出テタルモノニテ右

ハ少ク共I、Gノ内諾ヲ得居ルモノナルヤニ感セラレタリ爲念

北平、上海へ轉電セリ



705 昭和12年9月15日

在天津堀内総領事より
広田外務大臣宛(電報)

わが方海關管理案を天津稅關長内諾について

天津 9月15日後発

本省 9月15日夜着

第九三九號

往電第九一六號ニ關シ

其ノ後先方申出ヲ数字的ニ攻究スルト共ニ更ニ糧倉ヲ通シ稅關長ノ事態認識ヲ促シ置キタル處十四日稅關長本官ヲ來訪シ

(一)先日ハ日本人納付ノ稅ノミ日本側銀行ニ預金スル様申上ケタルモノ今後ノ稅收ハ全部日本側銀行ニ預入シ差支ナシ但シ過去ノ稅收約百萬弗香上銀行ニ預入レアリ之ハ其ノ儘ニ願ヒ度ク而シテ今後ノ日本銀行預金中ヨリハ海關經費及日本側ノ同意ヲ得タル外債擔保部分ノミヲ「下口

「I」スル建前ト致度シ(但シ自分トシテハ當分外債部分ハ「ドロウ」セサル所存ナリ)右ノ案ニテ日本側ノ同意ヲ直ニI、Gニ請訓ノ上實行致度シト述ヘ(「マ」ハI、Gハ正式ニ承認シ難カルヘキモ少クトモ差支ナシトノ内意ヲ表示シ來ルヘク自分ハ右ニテ實行スル積リナリト述ヘ居タリ)

(二)本官ヨリ天津海關ノ日本人職員増加カ日本側ノ海關ニ對スル信頼ヲ増加スル爲ニ最モ必要ナル旨ヲ強調セルニ對シ早速之ヲ上申スヘキ旨ヲ答ヘ

(三)本官ヨリ日本側ハ銀ノ南送殊ニ密移輸出ノ有效ナル阻止ヲ肝要ト考ヘ居ル旨ヲ述ヘタルニ對シ自分(稅關長)モ南京ヨリ銀行側ニ對シ銀南送方ノ命令アリタルヤノ情報ニ接シ居ルモ事件以來正規ニ輸出セラレタルモノハナク内密ニ輸送スルカ如キコトナキ様注意シ居ルカ今後ハ日本人海關員ヲシテ出港船ノ臨檢ヲ爲サシメ結果ヲ海關監督(近ク任命セラルヘキ治安維持會側ノ)ニ報告シ日本側ニモ御知ラセ致スヘク此ノ際更メテ船舶業者ニ對シ銀ノ輸出ハ禁止セラレ居リ違反者ハ沒收セラルヘキ旨ヲ通告スルモ可ナリ尙自分ヨリ總稅務司ニ對シ日本軍ハ銀ノ移

輸出ヲ嚴禁シ居ルヲ以テ輸出セント試ミルモ軍ニ沒收セラレ無益ノ紛糾ヲ來スノミナル旨ヲ申送り置クヘシト答ヘタリ

上海、北平へ轉電セリ

706 昭和12年9月29日 在上海岡本總領事より
広田外務大臣宛(電報)

海關收入を担保とする北清事變賠償金の対日
支払いを中国側停止について

上海 9月29日後発
本省 9月29日夜着

第一六四一號

往電第一三二二號ニ關シ

「メーズ」ヨリ正金支店長ニ對シ

二十九日附書翰ヲ以テ對本邦團匪賠償金九月分支拂ニ關シ
財政部ヨリ事變終了迄中立國銀行ニ特別勘定トシテ供託方
指令アリタルニ付右月賦額ヲ香上銀行ニ當該勘定トシテ供
託セル旨申越セリ不取敢

北平、天津へ轉電セリ

707

昭和12年9月30日

在天津堀内総領事より
 広田外務大臣宛(電報)

関稅收入を治安維持會の經費として融通する

方法につき研究方請訓

天津 9月30日後發

本省 9月30日後着

第一〇一六號(部外秘)
 往電第九四〇號二關シ

一、金融對策トノ關係ニ於テ海關接收必要ナリトノ議論ノ出
 テタルハ

- (イ) 稅率ヲ一分遞減ノ要アリ(ロ) 銀ノ南送ヲ監視スル要アリ
- (ハ) 收入ノ南送ヲ阻止スル要アリ(ニ) 經費及外債擔保部分ヲ
 除ク收入ヲ北支政權ノ費用ニ當ツル要アリ等ノ要望ヨリ
- 出發スルモノニシテ右ノ中(ロ)及(ハ)目下ノ海關トノ話合
 成立セハ其ノ目的ヲ達スヘク(イ)モ極ク少數品目ニ對スル
 暫行的ノ稅率引下ナラハ又將來海關トノ話合ニテ解決ノ
 途ナキニアラサルヘシ(委細郵報濟)トノ趣旨ヲ説明シ大
 體納得セシメ得タル次第ナルカ右(ニ)ニ付テハ目下ノ海關
 トノ話合ヲ全然打切りテ實力接收ノ舉ニ出ツルカ又ハ目

下ノ話合ノ「ライン」ニテ日本側銀行ニ積立テタル稅收
 ヲ治安維持會ニ融通スルカ如キ便法ヲ講セサル限り其ノ
 目的ヲ達シ得ス鹽稅、統稅等ノ收入カ増加シテ治安維持
 會等ノ經費ヲ「カバー」シ得ルニ至ルヘキヤ否ヤハ疑問
 ナルモ財政難ヲ感スル度毎ニ海關接收論カ擡頭シ來ルハ
 不可避ト認メラルルニ付日本銀行ニ積立テタル稅收ヲ融
 通スル方法ハ可能ナリヤ否ヤヲ研究シ置クコト肝要ナリ
 ト存セララ

二、稅收ハ稅關長ノ當座預金トシテ預入レラレ一定額ニ達シ
 タル上ハ定期預金又ハ通期預金トスルヲ得ヘキモ(稅關
 長カ我方トノ約束ニ反シテ預金引出ヲ求ムルカ如キコト
 アラハ銀行トシテ其ノ信用上支拂ヲ拒否シ得サルモ此ノ
 點ハ我方ニテ銀行トノ聯絡ニ依リ稅關長ヲ有效ニ制限シ
 得ヘシト存ス)銀行トシテハ稅關長ノ同意ナキ限り我方
 ノ要求ニ依リ海關ノ預金ヲ治安維持會ニ交付シ難キハ勿
 論之ヲ擔保ニ貸付ヲ爲ス譯ニモ行カス治安維持會ニ對ス
 ル貸出ハ結局形式的ニハ無擔保貸出トスルヨリ外ナク正
 金等ニテハ躊躇スヘク(鮮銀ハ可能ナルヤモ知レス)少ク
 トモ政府ノ財政的保障ヲ要求スルニアラスヤトモ考ヘラ

ルル處之ニハ多大ノ困難アルヘシ或ハ滿鐵、興中等ヲ介在セシメテ之ヲシテ保障セシムルカ如キ案モ考ヘラレサルニアラス以上ノ如キ技術的困難ハ有之トスルモ稅收ノ中ヨリ經費及外債擔保部分ヲ控除セル部分ハ事件ノ終了迄引出サルルコトナキ預金ナルヲ以テ何トカ銀行トシテ之ト同額ノ借款ヲ治安維持會ニ與フル便法ヲ考慮シ得ヘク事件終了ノ際稅收ノ處分ヲ決スルニ當リ之ヲ治安維持會ニ交付スルコトトシ借款償還ト相殺シ得ヘシト存セラ

ル
素ヨリ稅收ノ預金ハ萬已ムヲ得サル場合ノ外政費ニハ融通セス成ルヘク銀行ノ商業手形割引等ノ資金トシテ用ヒシムル所存ナルモ已ムヲ得サル場合融通スル途アルコト明カトナラサル限り海關接收論ヲ抑ヘテ目下話合中ノ「ライン」ニテ海關トノ交渉ヲ纏ムルコト不可能ナル形勢ナルニ付前記ノ如ク技術的困難ヲ何トカ克服シ得ル便法ヲ御研究ノ上至急御回電煩シ度シ

三、治安維持會ノ經費ハ北平、天津各三十萬、聯合會二十萬合計月八十萬元位カト想像セラルル處收入ハ鹽稅五十數萬元(往電第九七一號參照但シ經費及外債擔保部分等ヲ

除ク)統稅四、五十萬元(往電第一〇〇八號參照)等ニテ大體不足ナキニアラスヤトモ思考セラルルモ收入ハ必スシモ確實ナラス支出ハ事態ノ發展ニ依リ増加不可避ナルヤモ知レス

上海、北平ニ轉電セリ

708 昭和12年9月30日

在上海岡本總領事より
広田外務大臣宛(電報)

事変終了までは北清事変賠償金の対日支払い
を第三国銀行に預託する案をホール・パツチ
提議について

上海 9月30日後発
本省 9月30日夜着

第一六四六號

往電第一六四一號ニ關シ

財務官ヨリ

大藏次官ニ左ノ通り傳達ヲ請フ

二十九日「ホールパツチ」ノ求メニ依リ會見セル處「ホ」
ハ團匪賠償金對日支拂ニ付テハ南京側ハ既ニ八月中ヨリ停

止ノ議強カリシカ自分ヨリ支那ノ對外信用ニ及ホス影響ヲ
 説キ置ケリ蔣介石ハ財政問題ニ暗ク日本ハ他國ト異リ受取
 分ヲ對支戰爭ニ用フヘシトテ支拂ニ強硬反對ノ意向ナル由
 ニ付先般自分赴寧ノ際鄒琳及張公權ニ對シ折衷案トシテ事
 變終了迄第三國銀行ニ預託シ「サスペンス・アカウンツト」
 トスルコトヲ提示シ張公權ヨリ蔣ニ話シタリ(往電第一五
 六九號參照)支那側ハ同案ヲ採用スルコトトナリタル旨最
 近聞ケルカ何レ支那側ヨリ日本側ニ正式通知アルヘキモ自
 分ノ措置ヲ内密賀屋藏相ニ傳ヘラレタキ旨述ヘタリ
 北平、天津へ轉電セリ

709

昭和12年9月30日

在上海岡本総領事より
 広田外務大臣宛(電報)

北清事変賠償金の対日支払い停止に對する不

承認および権利留保を中国側へ通告方訓訓

上海 9月30日後發

本省 9月30日夜着

第一六五三號

往電第一六四一號ニ關シ

箋)本件支那側決定ハ對日支拂分ノミニ關スルモノナル處我方
 (付)トシテハ不取敢支那側ニ對シ其ノ一方的ニ決定セル本件措
 置ハ我方之ヲ承認セス我方ハ債權確保上必要ノ措置ヲ執ル
 權利ヲ留保スル旨申入レ置クコト然ルヘシト認メラルルモ
 何分ノ御意見御回電アリタシ
 北平、天津へ轉電セリ

(付箋)

上海來電第一六五三號ニ關シ

東亞局松村事務官ニ對シ文化事業部ノ態度表明濟

東亞局ハ上海來電第一六五三號ニ對シ稟請通措置スヘキ旨訓令
 スルト共ニ在京支那大使ニモ抗議スル事ニ決定セリ

昭和十二年十月一日

710

昭和12年10月3日

在天津堀内総領事より
 広田外務大臣宛(電報)

わが方海関管理案の再検討を英国領事提議に

ついて

天津 10月3日後發
本省 10月3日夜着

第一〇三五號(極秘)

往電第九三九號二關シ

一、其ノ後「メーズ」ヨリ稅關長ニ對シ第三國銀行ニ預金スル案ニテ日本側ト再應交渉方訓令アリタル模様ナルモ稅關長ハ直接之ヲ本官ニ申出テ兼ネタルモノト見ヘ二十三日糧倉ヲ派シ來レルニ付本官ヨリ日本銀行ニ預金スル案ニテモ反對少カラサル迄ニ事態ノ變化シ來レル此ノ際斯ル申出ヲ爲ス様ニテハ事態ヲ惡化セシムルノミナル旨ヲ傳言セシメ置キタル處稅關長ハ重ネテ日本側申出ヲ至急受諾スル以外途ナキ旨ヲ「メーズ」ニ電報セルカ稅關長ハ「メ」ノ回訓如何ニ拘ラス我方提案ヲ實行スル決心ナルカ如キ旨糧倉ヨリ内報アリタリ

二、尤モ之ニ對シ「メ」ヨリ日本側申出ヲ鵜呑ニスルノミニテハ困ル旨重ネテ電報越セルラシク二十九日ニハ英國總領事館「ハーバート」領事本官ヲ來訪シ稅關長ノ苦衷ヲ聽キ全然個人トシテ何トカ日本側ニ於テ考慮ノ餘地ナキヤヲ伺ヒ來レリト述ヘタルニ付

本官ヨリ事態ヲ篤ト説明セルニ日本側申出ヲ受諾スル外ナキコトヲ了解セルニ付自分ヨリ個人トシテ在上海英國總領事ヲシテ「メーズ」ヲ説得セシメ度キニ付四、五日待タレ度シト述ヘ居タリ(本官ハ貴官ノ個人ノ關與ハ希望セサルモ御隨意ナリ軍力之以上辛抱スルヤ否ヤハ疑問ナリト應酬シ置ケリ)

尙佛國領事モ他用萩原ト會談ノ際電報局、郵便局、海關ノ如キ支那側機關ヲ租界内ニ置クコトハ面倒許リ起スニ付今後ノ新設ハ許可セサル方針ニシテ海關問題ニ關スル日本側ト稅關長トノ話合モ他ヨリ聞及ヒ居ルカ日本側申出ハ「リーゾナブル」ナレハ海關カ之ヲ受諾シテ何トカ速ニ平和ニ解決スル様希望シ居リ既ニ其ノ旨大使ニ電報セリト内話シ居タル由

三、右ノ如キ外國側ノ説得モアリタル爲カ本二日「メーズ」ヨリ favourable answer shall be sent 卜電報アリタル由糧倉ヨリ内報アリタリ

上海、北平へ轉電セリ

711 昭和12年10月10日 在天津堀内総領事より
 広田外務大臣宛(電報)

海関管理問題に關し英國側が対案提示について

別電 昭和十二年十月十日発在天津堀内総領事より

広田外務大臣宛第一〇七二号

右対案

天津 10月10日後発

本省 10月10日後着

第一〇七一號

往電第一〇三五號ニ關シ

一、其ノ後更ニI、Gヨリ金單位紙幣又ハ小切手ニ依ル納税ノミハ中央銀行支店ヲシテ取扱ハシムル案ニテ交渉方電訓アリタルヤニテ糧倉來訪セルニ付斯ル案ハ到底問題トナラサル旨ヲ申聞ケ置クト共ニ六日萩原ヲ税關長ノ許ニ派シI、Gハ或ハ責任回避ノ爲色々ノ案ヲ出シ來リ其ノ何レモ日本側ノ受諾スル所トナラサリシコト明カトナルニアラスンハ責任ヲ取ラサル積リナルヤモ知レサルモ日本側公表ヲ遷延策トヨリ解シ得ス日本側力當初ヨリ駈引ナシニ極メテ「リーゾナブル」ナル案ヲ提出シ其ノ儘容

諾ヲ求メ居ルコトハ御承知ノ通りニシテ總領事ハ數日中ニ貴税關長ヨリ「イエス」カ「ノー」カノ回答ヲ期待シ居ラレ夫レ以上遷延セハ本件ハ打切トシ日本側ハ獨自ノ見解ニテ處理スル外ナキ旨申入レシメタルニ税關長ハ十一日朝迄ニ確答ヲ約シ期日ヲ限ラ(レ)タルコトハ寧ろ口分ノ立場ヲ容易ナラシムルヘクI、Gニ對シテハ急迫セル事情ヲ説明シ此ノ上ハ自分ノ最善ト信スル所ヲ行フコトヲ許サレ度キ旨打電スヘシト述ヘ居タル趣ナリ

二、然ルニ九日英國總領事本官ヲ來訪シ在南京大使館ヨリ南京政府ニ於テハ目下別電ノ如キ案ニテ話ヲ進メントシツツアル模様ナルニ付日本側力最後の措置ヲ執ラルルコトヲ一週間許リ待タレ度キ旨ヲ貴官ニ申入ルル様訓令アリタル旨ヲ述ヘタルニ付本官ヨリ本件ハ支那側トノ交渉ニシテ大使ノ訓令ニ依ル御申入ナリトセハ自分ハ之ヲ聞ク譯ニ行カスト應酬シタル處然ラハ自分(英國總領事)ノ個人的申入ト解セラレ度シト述ヘタルニ付本官ヨリ税關長カ再再延期ヲ申出テ目下本官ヨリ最後の回答ヲ求メ居ル位ナレハ今更一週間ト言フカ如キハ問題トナラサルヘシト答ヘ置キタリ

右訓電ノ内容ニ付テハ深入リスルヲ避ケ唯々個人的ノ「コメント」トシテ外國銀行ヲ經由シ日本銀行ニ預金セラルルトセハ日本側トシテ稅收力全部日本銀行ニ預金セラレタリヤ否ヤヲ調査シ得サルヘキニ付到底受諾シ難カルヘシト述ヘタルニ對シ英國總領事ハ稅金ハ直接稅關ヨリ日本銀行ニ預金セラレ唯預金ヲ「カストジアン・バンク」ノ名義トスル意ナリト説明シ居タリ
本電別電ト共ニ上海、北平へ轉電セリ

(別電)

天津 10月10日後發
本省 10月10日後着

第一〇七二號

Central Bank to nominate Hongkong and Shanghai Bank or other "neutral" bank as custodian bank for all customs revenue. Custodian bank to open an account with Yokohama Specie Bank in which all customs revenues collected in Tientsin and Chingwangtrao will be deposited.
The custodian bank undertakes do vis a vis the Yokohama

Specie Bank, that this account will be drawn upon by custodian bank by cheque for foreign loan quota and current local expenses only and balance to remain in Yokohama Specie Bank pending settlement of present hostilities.

712 昭和12年10月12日 在天津堀内総領事より
広田外務大臣宛(電報)

海關管理問題に關する天津稅關長との意見交換について

別電 昭和十二年十月十二日發在天津堀内総領事より
り広田外務大臣宛第一〇七九號
海關管理に關する英國側對案は日本案と大差なき旨意見具申

天津 10月12日後發
本省 10月12日後着

第一〇七八號
往電第一〇七一號ニ關シ

稅關長ヨリ十一日本官ニ回答ヲ爲スコトトナリ居ルニ九日

ノ英國總領事ノ來談ニ依リ右回答ヲ延期シ得ルモノト考ヘ居ル模様ナリシニ付十一日稅關長ノ來訪ヲ求メ英國總領事ヨリノ話ハ同總領事ノ得タル「インフオメイション」ヲ個人ノ二通報アリタルモノト了解シ居リ從テ貴稅關長ヨリ確答又ハ少クトモ回答ヲ爲シ得サル事情ノ説明ヲ期待シ居ル旨ヲ述ヘタルニ稅關長ハ七日I、Gニ對シ十日迄ニ回答ナキ時ハ承諾アリタルモノト了解シ最善ト信スル所ヲ行フヘキニ付之ヲ許サレ度キ旨電報シ置キタル處I、Gヨリ目下交渉中ニシテ速ニ回訓ヲ發スヘキニ付獨斷ニテ行動スヘカラサル旨回電アリタリ如何ナル回訓カアルヤハ英國總領事館側情報以外ニ豫測ノ材料ナク左リトテ自分限りニテ取極メル譯ニモ行カス困却シ居ル旨ヲ述ヘ英國側情報ノ如キ案ヲ日本側ニテ受諾可能ト考ヘラルルヤト質問セルニ付本官ヨリ支那側カ之ナラハ實行スヘシト言フコト確實ナル對案ナラハ兎モ角今直ニ我方ニ於テ同案ヲ受諾シ得ルヤ否ヤヲ表明スヘキ筋合ニアラス

⁽²⁾又軍側ニ於テハ本件交渉ニ付支那側カ遷延策ヲ弄シ居ルヤノ印象ヲ深メ居ル折柄稅收以外ノ諸點ニ關スル我方ノ提案ハ貴官限りニテ實行シ得ルトノ豫テノ御話モアリ例ヘハ海

關監督ノ件及邦人職員ニ依リ銀密輸監視等ヲ直ニ實行スル位ノ誠意ヲ示スニアラサレハ本件對案ノ考量ハ愚カ之以上待ツ譯ニハ行カサルヘシト應酬シ置キタリ稅關長ハ直ニI、Gニ對シ英國側情報ノ案カ確定の對案ナリヤヲ「コンファーム」シ且自分限りニテ取計ヘサル邦人職員増員方等ヲ至急電請スヘク海關監督ハ治安維持會ニテ任命アラハ之ヲ承認シテ差支ナキ旨I、Gノ了解取付濟ナル旨ヲ述ヘタリ右會談ニ際シ往電第一〇七二號ノ案ニ付其ノ諾否ヲ「コミット」スルモノニアラサルモノナル旨ヲ前提シテ稅關長ニ或程度ノ説明ヲ求メタルカ其ノ概要及本案ニ對スル當方ノ觀測別電第一〇七九號ノ通り

本電別電ト共ニ上海、北平ヘ轉電セリ

(別電)

天津 10月12日後發
本省 10月12日後着

第一〇七九號

⁽¹⁾往電第一〇七二號第一項ニ「Custodian bank for all customs revenue (allノ字ニ「アンダーライン」シアリ

タリ)トアルコト及「カストジアン、バンク」ノ語ノ本
來ノ意味(又 China's customs revenue 第八頁以下)等ヨ
リ考ヘレハ全支那ノ關稅收入ノ意ナラスヤト考ヘラルル
ニ付稅關長ニ質問セルニ矢張り天津及秦皇島稅收ノ全部
ヲ保管スル銀行ノ意ナルヘシト述ヘ居タルカ貴電第四四
五號ニ依リ全支那ノ海關收入ノ意ト解セラル英國側カ海
關ノ獨(立?)性ヲ強化シ支那ノ對外的又ハ内部的の紛亂ニ對
シテモ超然タル存在トナシ且之ニ對スル國際管理ヲ強化
シ支那ノ金融經濟ヲ把握セントノ考ヲ有スルコトハ「リ
ースロス」以來ノ經緯ニ徴スルモ疑ノ餘地ナク此ノ點ニ
付テハ充分ノ考量ヲ運ラス必要アルモ集金、送金等ノ技
術的の見地ヨリ見レハ一九三二年三月以來各地ノ稅收ハ上
海ノ中央銀行ニ集メ同銀行ヨリ外債支拂所要額ヲ香上銀
行ニ送付シ居ルモノニシテ(前記書物十二頁)香上銀行カ
右中央銀行ノ地位ニ取ツテ代ルコトハ左シタル影響ナク
寧口支那側カ外債支拂ヲ中止シテ關稅收入ノ全部ヲ政費、
軍備ニ流用スル危險ヲ防止スル利益アリ從テ此ノ點ハ
「至支海關收入ノ「カストジアン、バンク」ノ變更ヲ今
直ニ國際間ニ話合フコトハ適當ナラスト思考ス支那側カ

一方的ニ之ヲ變更スル場合ハ事變中ノ暫行的措置ニシテ
將來ノ制度ヲ「コミット」スルモノニアラサルコトヲ明
カトスルコトヲ要ス」ト應酬シ強テ反對ノ要ナキヤニ存
セラル

二、從來天津ニ於テハ中央銀行員カ海關内ニ出張シ居リ「デ
ユチー・メモ」ニ依リ納稅者ヨリ直接稅金ヲ收受シ同行
カ「レミッタンス」ヲ爲シ居タリ(前記書物十三頁ノ表
參照)事變以來ハ「コレクシヨン」ハ引續キ中央銀行カ
行ヒ居ルモ稅金ハ香上銀行ヘ預入レ「レミッタンス」ハ
行ヒ居ラス本案ニ依レハ「コレクシヨン」ハ中央銀行員
引續キ之ヲ行ヒ毎日其ノ日ノ收入ヲ直接正金銀行ニ持チ
行キ之ヲ正金銀行ニ於ケル香上銀行ノ特別「アカウン
ト」ニ入レ稅關長カ經費ノ支出ヲ要スル時ハ香上銀行宛
ノ小切手ヲ切り香上銀行ハ同額ヲ正金銀行ニ於ケル預金
ヨリ引出スコトナルモノニシテ外債擔保部分ノ送金ヲ
爲スニハ稅關長ヨリ香上ニ送金ヲ申込ミ香上ハ正金ヨリ
引出シテ送金ヲ爲スモノナリ右小切手ノ振出又ハ送金ノ
申込ニハ稅關長ノ署名ヲ要シ(香上ノミニテ爲スヲ得ス)
且稅關長カ豫メ日本側ノ同意ヲ得タルモノナルコトヲ明

カニシタル場合ノミ正金カ引出ヲ認メ得ル様稅關長ト香
上トノ間及香上ト正金トノ間ニ契約セシムルコトヲ得ヘ
シ右ハ稅關長ノ言ナルカ果シテ右ノ通りナリヤ否ヤハ岸
本邊ニ就キ充分確メラルル必要アリ

三、我方カ所期ノ目的ヲ達スル爲ニハ(イ)稅收ノ全部カ誤魔化
サレスニ日本銀行ニ預入レラルルコト(ロ)預金ヲ不必要ニ
引出サレサルコト等必要トス右(イ)ハ正金銀行員カ中央銀
行員ニ代リテ海關ニ出張シ得サル限り假令正金ヲ「カス
トジャン・バンク」トスルモ稅關側ヲ信賴シ行ク外ナク
稅關長ハ本官ノ質問ニ對シ海關ノ會計係ヲ日本人職員ニ
代フルカ如キハ自分ノ權限内ニテ取計ヒ得ヘキニ付適當
處理スヘシト述ヘ居タリ右(ロ)ハ前記ニ稅關長ノ話ノ通り
ナリトスレハ心配ナシト思考セラル

四、⁽³⁾從ツテ本件對案カ稅關長等ノ考ヘ居ルカ如キ支那側ノ面
子ノミノ問題ナリトセハ之ヲ受諾スルモ差支ナシト認メ

ラルルモ若シ英國側カ「ローン、クオータ」ノ決定及預
金ノ最終的處分ニ迄容喙セントスル底意アリトセハ相當

考慮ヲ要スヘシ

依テ Foreign loan quota ノ後ニ to be consented by the
Japanese Authorities ノ語ヲ加ヘ It is understood that
custodian bank is in no way entitled, by the present
modus operandi, to intervene in the settlement of the
issue ノ一句ヲ加ヘ細目ハ稅關長ト本官ノ間ニ話合ヒ稅
關長、正金間ノ文書トシテ殘シ置クカ如キモ一案ニアラ
サルカト思考セラル

但シ以上ノ意見ハ軍ト打合セタル所ニアラス此ノ點ハ至急
追電スヘキニ付直ニ意見ヲ御決定ナキ様致度シ



713 昭和12年10月12日 在天津堀内總領事より
広田外務大臣宛(電報)

海關管理問題を軍と協議の結果わが方管理案
の貫徹方針を決定についで

天津 10月12日後發
本省 10月12日夜着

第一〇八七號(極祕、部外祕)
往電第一〇八六號ニ關シ

一、軍側トノ打合ニハ會議ノ形式ニ依ルコトヲ避ケ先ツ萩原、朝海ヨリ軍側係官ニ對シ英國側新提案ヲ修正附ニテ容認セハ我方原案ト實質上相違ナカルヘキ旨竝ニ外務側トシテモ決シテ遷延策ニ乗セラレ居ル次第ニハアラス海關ニ對シ積極の措置ヲ執ルヘキ時機ハ北支竝ニ上海方面ニ於ケル軍事行動一段落ヲ告ケタル際ノ支那側出方ヲ見極メタル上自主的ニ決定スルコト我方ニ有利ナルヘシトノ見地ヨリ現在ハ稅關側ノ交渉ニ應シ居ル次第ナル旨詳述シ海關ノ實質的把握工作ニ充分ナル機會ヲ與フルコト適當ナル旨申入レタル處同係官ハ一應右ヲ納得シ喜多少將ニモ直ニ報告スヘキ旨約セリ

二、依テ十二日日本官同少將ト會見海關ノ即時接收力既ニ相當惡化セル國際關係ノ惡化ニ拍車ヲ掛クコトトナルヘキハ明カナルヲ以テ新提案ノ修正ニ依リ我方當初ノ目的ヲ達成シ得ル以上早急の措置ニ依リ支那側ノ宣傳ニ乘スル隙ヲ與ヘシメサルコト肝要ナル旨繰返シ申述ヘタルモ同少將ハ本件ヲ持出シタル後二箇月ナルニ未タニ海關ニ對スル工作思フ様ニハ進マサル實狀ナレハ部内情勢ヨリモ此ノ上ノ遷延ニハ應シ難ク殊ニ新提案ハ英國ノ本件ニ對

スル介入ヲ誘致スルカ如キ性質ヲ有スト認メラレ右ニテハ愈々部内ヲ取纏ムルニ困難ヲ感スル次第ナリ

依テ原案ニ對シ直ニ諾否ノ返答ヲ海關側ヨリ取付ケラルル様御配意アリ度ク稅關ニテ應セサルニ於テハ接收ノ外途ナカルヘシ軍トシテハ直ニ其ノ準備ニ取掛ル積リナリト答ヘタルニ付更ニ本官ヨリ出先ニ於テ意見ノ一致ヲ見ストセハ問題ノ重要性ニモ鑑ミ夫々中央ニ請訓ノ上決定ヲ待ツコトト致度シト申入レタルモ同少將ハ右ハ徒ニ出先ノ意見不一致ヲ中央ニ表示スルニ止マル一方中央トシテモ裁決シ得サルニアラスヤト思考セラルルニ付何トカ軍側方針ニ御協力相願度シト答ヘタリ

三、中央ニ於テ即時接收ハ不可ナリトノ御決定アラハ格別ナルモ(右決定モ至難ナルヘキハ朝海事務官ヨリ報告アリ)當方從來ノ軍側トノ關係ニ鑑ミ本件ニ付軍側ト協調ヲ保ツコトハ今後幾多ノ問題ノ處理上極メテ必要ナリト存セラレ此ノ際我方原案ニ對シ至急稅關側ヨリ返事(即答ニ近キモノ)ヲ取付ケル様努力スルノ外ナク即答ナキカ拒否的の回答ナルニ於テハ接收工作具體的ニ進メラルル結果トナルヘシ

714

昭和12年10月12日

在天津堀内総領事より
広田外務大臣宛(電報)

海関管理問題に対する軍の態度硬化と接收実

行に向けた準備状況について

天津 10月12日後発

本省 10月12日夜着

第一〇八八號(極秘、部外秘)

上村東亞一課長へ朝海ヨリ

一、最初當地軍側ニテハ中央ノ意見ヲ氣兼シ海関接収ニ相當
「チミツド」ナリシ由ナルモ青木次長、川村中佐等ノ來
津ニ依リ中央軍側ノ強硬意見ヲ確認シ急ニ強硬論ノ擡頭
ヲ見ルニ至レル趣ナリ

二、冀東貿易ノ擴張強化ハ軍側ヲシテ既ニ原則的ニ之カ廢止
ニ同意セシメタル次第ニモアリ且ハ國際關係ニ及ホスヘ
キ影響ハ海關ノ接收ト殆ト異ル所ナカルヘキニ付今ノ所
此ノ點ニ付軍側ニ持出スコトハ面白カラサルヘシトノ堀
内總領事御意見ナリシヲ以テ小官ヨリ本案ヲ接收代案ト
シテ軍側ニ提示シ居ラサルニ付御含置キ請フ

三、尤モ軍側トシテモ我方實力若クハ我方ノ旨ヲ受ケタル便

衣隊ヲシテ佛租界ノ海關ヲ強制的ニ接收シ度シト迄ハ考
へ居ラサルモノノ如シ差當リ塘沽、日本租界、特別區等

ニ新海關ヲ設置シテ舊海關ヲ骨抜キトスル意嚮ナリト認

メラル(右ノ場合ニモ例ヘハ外國船カ自由ニ佛租界舊稅

關ニテ所定ノ手續ヲ履ムコトヲ阻止シ得サルヘキニ付果

シテ骨抜キト爲シ得ヘキヤ疑問ナル旨指摘シ置ケリ)滿

洲國稅關吏三名目下當地ニテ接收ノ具體的方法ヲ研究中

ノ由

四、總領事館ニ於テハ輸入稅率ノ引下ハ實質的把握工作成功

セル後第二段ノ措置トシテ研究ヲ進メ度シトノ意嚮ナリ

(往電第一〇二六號ノ一參照)

五、外債擔保部分及海關經費ヲ差引キタル殘餘ヲ今直ニ政費

ニ流用セサレハ治安維持會等ノ指導ニ支障アリヤトノ質

問ニ對シテハ軍側ヨリ必スシモ然ラサルカ如キ印象ヲ受

ケタリ



715

昭和12年10月14日

在天津堀内総領事より
広田外務大臣宛(電報)

海関問題に対する軍の態度硬化に鑑み交渉条

件が第三国の利害に影響せず妥結の望みある

旨を軍に説明方意見具申

付記 東亜局作成「昭和十二年度執務報告 第一冊

(第一課關係)より抜粹

「天津秦皇島海關接收問題」中の「第二款

我方管理要求ト天津稅關長ノ受諾」の「十」

から「十二」

天津 10月14日後發

本省 10月14日夜着

第一一〇〇號(部外祕)

貴電第四五七號二關シ

海關問題ニ關シ最近軍側ノ態度特ニ急激ニ硬化セルハ軍中
央ヨリ貴電第四四五號ノ英佛申出及之ニ關スル傍受電ヲ電
報シ來レル爲本件ニ關シ漸ク外國側方容喙シ來リ外務當局
ニ交渉ヲ任シ置クニ於テハ外國側ニ對スル關係上遂ニ接收
ノ外ナキニ至リタル場合モ接收ヲ實行シ得サル羽目トナル
惧アルニ付海關實質的把握ノ交渉ハ速ニ決裂セシムルニ如
カスト考へ出シタルニモ依ルモノナルコトハ往電第一〇九
七號ニモ申進ノ通りニシテ此ノ際外國側ヨリ色々申出アル

モ之ニ對シテハ本件ハ我方ニ對シ戰鬪行爲ヲ爲シ居ル南京
政府ノ機關ヲ我軍ノ後方ニ存置セシメ置ク譯ニ行カス本來
ナラハ戰鬪行爲中海關ノ行動停止ヲ要求スヘキ筋合ナルモ
特ニ外國側ノ利害關係ヲ考慮シ一定條件ノ下ニ之ヲ存置セ
シメ置カントシテ海關ト交渉ヲ開始セルモノニシテ右條件
ハ海關ノ機構外國人職員外債擔保部分ニ影響スルコトナク
從テ外國ノ利害ニ影響ヲ及ホササルモノナレハ之以上外國
側ノ容喙ヲ受クヘキ筋合ニアラサルコトヲ明カニセラルル
ニアラサレハ益々軍側ヲ「イリテート」シテ接收ヲ早カラ
シメ纏マルヘキ交渉モ纏マラサルニ至ル惧アリト思考セラ
ル
御氣付ノコトトハ存スルモ爲念

(付記)

十、十月十三日在京英國大使ハ堀内次官ヲ來訪シ天津海關
(前略)
問題ニ關シ左記ノ案ヲ提示シ我方ノ考慮ヲ求ムル旨述ヘ
タルニ付次官ヨリ右ハ英國側ノ提案ト了解スヘキヤト質
シタルニ英大使ハ右ハ現地ニ於ケル日本側提案ニ基ク天
津日英總領事間討議、南京ニ於ケル「ホールパッチ」

「ハウ」代理大使及外交部長間討議等ノ結果ヲ綜合シテ適當ナリト認メタル案ニシテ結局ニ於テ天津稅關長ヨリ日本側ト提議セラルヘキモノト思考スルモ英國政府トシテモ支那海關ニ關シ深キ利害關係ヲ有スルニ付特ニ右案ヲ支持シテ日本政府ノ考慮ヲ求ムル次第ナリト述ヘタリ

1. The procedure now in force is that all Customs revenues are deposited with the Central Bank of China. The Chinese Government is willing to instruct on its own initiative the Central Bank of China to authorize as a provisional measure a bank of a third country as custodian Bank to receive such revenues, the details of the arrangement to be fixed by the two Banks.

2. The revenues referred to above shall include those of Tientsin and Chinwangtao Customs.

3. The period for which authorization is given will only cover the duration of the present hostilities.

4. The custodian Bank shall be responsible to the Central Bank of China for the safe custody of all Customs Revenues so deposited. With regard however to

revenues collected by the Tientsin and Chinwangtao Customs the custodian Bank is permitted to deposit them with another Bank.

5. The custodian Bank shall, during the period of authorization mentioned in No. 1 above, make the necessary monthly payments as heretofore. As regards however the revenues deposited temporarily with the other Bank mentioned in No. 4 it may draw by cheque on such other bank as they fall due, the necessary amounts for the payment of the quota of foreign loans assigned to Tientsin and Chinwangtao and for the defraying of the necessary current local expenses of those stations.

6. The custodian Bank shall not concern itself with matters other than the arrangements above mentioned.

十一、然ルニ十月十五日天津稅關長ハ堀内總領事ヲ來訪シ I・Gヨリ左記ノ案ニテ日本側ト話合ヲ纏メ差支ナキ旨訓令アリタリト述ヘタルニ付同總領事ハ先ツ其ノ案ノ説明ヲ求メタル上支那側對案ノ内容カ我方原案ノ代換ヲ裝ビツツ實ハ骨抜キニスル「トリック」ナルコトト

此ノ間ニ外國側ノ介入アルコトカ明カトナリタル以上我方トシテモ相當警戒セサルヲ得ス從テ今日ハ右ノ如キ提案カ問題トナラサルハ勿論我方原案ノ儘ニテモ纏メ得ルヤ否ヤ疑問ナルモ若シ今直ニ原案(稅關長カ直接日本銀行ニ預入レ我方ノ同意セル外債擔保部分ト地方的經費ノミヲ引出スコト)ヲ實行スル用意アラハ之ヲ纏ムル様最善ノ努力ヲ爲ス積リナリト述ヘタル處稅關長ハ之ヲ諒トシ早速 I・G ニ對シ速ニ日本側原案ヲ受諾スルコト必要ナル旨電報スヘシト述ヘタル趣ナリ

1. Procedure now in force is that all Customs revenues are deposited with Central Bank of China. Chinese Government is willing to instruct on its own initiative Central Bank of China to authorize as provisional measure bank of third country as Custodian Bank to receive such revenues, details of arrangement to be fixed by two Banks.

2. The moneys to be deposited in the Custodian Bank shall comprise the customs revenue collected by the Tientsin and Chingtao customs.

3. Period for which authorization is given will only cover duration of present hostilities.

4. The whole revenue, i.e. import duty and surtax, export duty and surtax, interport duty and surtax, collected by the Tientsin and Chingtao customs the Custodian Bank may deposit with another bank (i.e. Yokohama Specie Bank).

5. As regards however revenues deposited temporarily with other Bank mentioned in No. 4 it may draw by cheque on such other bank as they fall due, necessary amounts for payment of foreign loans assigned to Tientsin and Chinwangtao and for defraying of necessary current local expenses of those stations.

6. Custodian Bank shall not concern itself with matters other than custody of customs revenue.

十二、一方十月十八日在京英國大使ハ堀内次官ヲ來訪シ日本軍側ハ英國側カ支那側ト肚ヲ合セ「トリック」ヲ行ヒ居ルモノトシ憤慨シ居ルナルカ右カ甚シキ誤解ナルコトハ御承知ノ通りニテ自分ハ日本側カ海關統一ヲ支持ス

ト云フ從來ノ言明ニ反シテ海關ヲ接收スルカ如キコトア
 ランカ此上更ニ列國ノ對日感情ヲ刺戟シ日本ノ國際關係
 ヲ不利ナラシムルコトトナルヘキノミナラス夫レカ爲メ
 支那側ノ日本ニ對スル債務支拂ニモ累ヲ及ホシ却テ日本
 ノ不利トナルヘク英國側ニテハ斯ル事態ノ起ルコトヲ避
 クル爲メ極力支那當局ヲ説得シ圓滿解決ノ爲盡力シ居ル
 次第ナリ自分トシテハ先日ノ提案ハ是ニテ稅收ノ南送ヲ
 阻止シ得ルニ依リ日本側要求ヲ事實上満足セシメ得ルモ
 ノト信ス尙(次官ヨリ日本側ニテハ稅收ノ南送阻止ノミ
 ナラス出來得レハ治安維持費ヲモ捻出シ度キ考アルモノ
 ト思考スト述ヘタルニ對シ)地方政費支辨ノ問題アラハ
 右日本側要求ヲ更ニ話合フコトヲ得ヘシ要ハ海關ノ統一
 ヲ保持シツツ日本側要求ヲ容ルル目的ヲ以テ交渉ヲ進ム
 ニアリ日本天津總領事ヨリハ十七日ヲ期限トシ最後の回
 答ヲ要求シ居ルカ如キモ接收ノ如キハソレノミニテ世界
 ノ對日疑惑ヲ増スヘキニ付斯ル形式ハ之ヲ避クルヲ要ス
 ヘシ云々ト述ヘタリ

次テ二十日會談ノ際英國大使ハ再ヒ本問題ニ言及シ天津
 方面軍ハ過日ノ提案カ天津及秦皇島ノ收入ヲモ同一ニ取

扱ハントスル點ニ反對アルカ如キモ本案ハ支那政府カ外
 債擔保部分ヲ濫用セサルヘキコトヲ保障スルモノナリ等
 述ヘタルニ對シ次官ヨリ本件ハ天津ニ於テ交渉中ナルヲ
 以テ東京ニ於テ論議スルコトハ却テ問題ヲ紛糾セシムル
 ノ惧アル旨ヲ告ケタル處同大使ハ在天津日本官憲ハ此上
 ノ討議ヲ拒絶シ憂慮スヘキ事態ニ在リトノ報道ニ接シ居
 ルニ付何トカ當地ニ於テ非公式話合ニ依リ了解ヲ遂ケ度
 シト述ヘタリ

同大使ハ更ニ二十二日ニハ過日ノ六項目案ハ支那側最大
 ノ讓歩ニテ實ハ支那側ニテハ内債支拂額ヲモ差引カンコ
 トヲ固執シタルモ英國側ニテ漸ク説得シタル位ナリトテ
 右案ニ依ル解決方ヲ繰返シタルヲ以テ次官ハ最近ノ情報
 ニ依レハ稅關側ニテハ多少讓歩ノ模様アリ暫ク現地交渉
 ノ成行ヲ見ルコト然ルヘキ旨答ヘ置ケリ

(以下略)

716

昭和12年10月21日

在天津堀内総領事より
 広田外務大臣宛(電報)

總稅務司六項目提案のわが方承諾を中国財政部

長が強く要求しているとの海関側通報について

付記一 東亜局作成「昭和十二年度執務報告 第一冊

(第一課關係)より抜粋

「天津秦皇島海關接收問題」中の「第二款 我方管理要求ト天津稅關長ノ受諾」の「十三」から「十四」

二 東亜局作成「昭和十二年度執務報告 第一冊

(第一課關係)より抜粋

「天津秦皇島海關接收問題」中の「第三款 其後ノ交渉ト新政權ニ依ル接收」の「一」および「六」から「七」

天津 10月21日後発

本省 10月21日後着

第一一三八號

往電第一一二二號ニ關シ

十九日I、Gヨリ財政部長ハ既電ノ六項目以上ニ如何ナル讓歩ヲモ許シ得ス現在及今後ノ稅收ハ徵稅費及外債支拂ニスラ不足ニシテ夫レ以外ノ用途ニ當ツヘキ剩餘ナキコトヲ説明シ日本側ニ六項目ノ承認方ヲ強クJudgeセラレ度シト電報アリ(上海發本官宛電報第八〇號ニ所謂最後の訓令ニ

該當スルモノカト思ハルルモ内債擔保部分ノ引出ヲ云々シ居ラス)稅關長ハ糧倉ヲ通シ右ノ次第ヲ内報越スト共ニ保管銀行ヲ認ムル代リニ天津、秦皇島以外各地海關ノ稅收モ正金ニ預入ルル案ニテハ如何カト申出テ來タレルカ二十一日英國總領事館ニ稅關長カ「ア、バンク、オブ、グッド、リピユテイション」ニ直接預金スル案ニテ差支ナキ旨電報アリタル趣ニテ稅關長ハ目下之ヲI、Gニ「コンファーム」シ居ル由

北平、上海ニ轉電セリ

(付記一)

十三、I・G側ニテハ依然前記六項目ヲ固執シ居タルモノノ如キ處十月二十二日糧倉ハ稅關長ノ命ニ依ル趣ヲ以テ堀内總領事ヲ來訪シ「日本側原案ノ通り稅關長ヨリ日本側銀行ニ直接預入レ外債及經費ノミ引出スコトト致度ク右ハ即日實行スルモ可ナリ青島海關ヨリ引揚中ノ邦人職員ノ有能ナル者ヲ天津ニ任命方電報スヘシ」トノ傳言ヲ傳ヘ稅關長ハ右ヲ文書ヲ以テ「コンファーム」スヘシト述ヘタルニ付同總領事ヨリ「十五日ノ會議ニ於テ述ヘ置

キタル通り今トナリテハ原案ノ儘ヲ受諾スルモ之ニテモ纏メ得ルヤ否ヤ疑問ナルモ本官トシテハ取纏ムル様盡力スヘシ」ト税關長宛傳言セシメ置キタル趣ナルカ同日税關長ヨリ同總領事ニ對シ別記ノ通來翰アリタル由ナリ

一方之ト同時ニ赤谷稅務司及英人副稅務司ハ天津正金支店長ヲ往訪シ天津ノ分及秦皇島ノ分各々ニ付 revenue a/c. revenue surtax a/c. Flood relief surtax a/c.ノ三者合計六口ノ當座ヲ開キ度キ旨及金單位稅收ハ差當リ弗ニ換ヘス紙幣又ハ native order ヲ其ノ儘保護預リセラレ度キ旨ヲ申出テタル趣ニシテ正金支店長ハ總領事館ノ意見ヲ聽キタル上ニテ回答スヘシト答ヘ置キタル由ナルカ堀内總領事ハ正金支店長ニ對シ差當リ普通ノ預金トシテ取扱フヘキ旨示達シ置キタル處稅關ハ十月二十五日ヨリ正金預金ヲ開始セル由ナリ

I have honour to inform you that having received necessary authority from I.G. to settle with you outstanding questions connected with Chinese Customs service in Tientsin and Chinwangtao, I have this day taken necessary steps to open an account with Y.S.B. at

Tientsin and Chinwangtao namely, the collection on behalf of import duty and revenue surtax and flood relief surtax, export duty and revenue surtax, interport duty and surtax, will be deposited, commencing with today's collections.

Throughout duration of present hostilities between Japanese Empire and China, and until questions arising out of these hostilities are settled, these specified collections will continue to be deposited with Y.S.B. in Tientsin, and it is understood that withdrawals therefrom shall consist of moneys for regular and accepted current local expenses. In regard to such of these moneys as are marked for loans of obligation purposes, their disposal is left to my discretion, but it is not my intention to make any withdrawals in this connection, pending settlement arising out of the present hostilities, and therefore any question regarding them does not arise.

It will be daily duty of administrative commissioner,

Mr. Y. Akatani, representing myself, to see that these moneys are duly deposited in Y.S.B. and Mr. Akatani has been given my full authority to take such steps as he may consider necessary to enable a proper check to be maintained over these moneys.

十四、然ルニ I・G 八十月三十日税關長ニ對シ日本側原案ハ外債擔保部分ノ送金ヲ認メ居タルニモ鑑ミ一切送金ヲ爲シ得ストノ貴官ノ言分ハ不可解ナリ之ヲ政府ニ報告セハ貴官ノ越權ノ行爲ト認ムヘク既電ノ條件(内債、外債ノ送金ヲ爲ス條件ニテ預金スルコト)ヲ逸脱セル理由ヲ説明スルコト困難ナルヘシ既電ノ條件通リトスルカ又ハ以前ノ貴電通リ送金ヲ爲スコトトスルコトカ不可能トセハ再ヒ六項目ノ案ヲ採用スル様努力アリ度ク而シテ東京ニ於テハ外國側モ日本側モ支持シ居ルコト明カナルニ付兎モ角モ現地ニテハ問題ヲ未解決ニシ置カレ度シト電報越シタル趣ニテ糧倉ヲ通シ堀内總領事ニ對シ東京ニ於ケル六項目ニ對スル「サツポート」云々ノ事實ノ有無ヲ確メ來レルニ付同總領事ヨリ然ルヘク説明シ置キタル處税關長ハ三十一日 I・G ニ對シ「日本側ハ六項目ニ對スル

支持云々ヲ否認シ居リ且問題ハ天津及秦皇島ニ關スルモノニシテ全支那ニ關スルモノニアラスト主張ス現地ニハ強硬論多ク自分ハ事態收拾ノ爲至急行動スル要アリタリ越權行爲ヲ云々セラルルモ自分ハ日本軍ノ意思カ最高ナル地位ニ居ルコトヲ記憶セラレタシ日本側及外國側カ東京ニ於テ六項目ヲ支持シ居ルトセハ東京ヨリ現地軍側ニ對シ東京ニ於テ解決スル迄待ツヘキ旨電報スル様措置セラレ度シ日本軍ニ對シ解決ハ I・G ノ手ニ移シタル旨ヲ通告シ差支ナキヤ」云々ト回電セルニ I・G ヨリハ單ニ引續キ交渉スヘシト電報シ來レル由ナリ

(付記二)

一、^(前略)天津税關長 I・G 間ノ關係ハ別トシ海關側ハ兎ニ角天津秦皇島ニ於ケル收入ヲ正金ニ預入ルルコト其内ヨリ經費以外ノ支出ヲナササルコト、邦人職員ヲシテ之ヲ監督セシムルコト、邦人職員ヲ増加スルコト、新ニ治安維持會ノ任命スル海關監督ヲ認ムルコト等ノ我方ノ要求全部ヲ入レ天津海關問題モ第一段ノ工作ヲ終レル次第ナルカ軍側出先ニ於テハ更ニ稅收ノ利用、稅率ノ低減ノ爲即時

接收ヲ實施スヘシトスル議論ナリシカハ本省ニ於テハ陸海軍大藏省トモ打合ノ上左記方針ヲ決定シ右ニ依リ可然取計フ様十月三十日堀内總領事ニ對シ訓電セリ

(一) 天津及秦皇島海關ノ接收ハ直接タルト間接タルトヲ問ハス今直ニ之ヲ實施スルコトハ海關側ニ於テ我方要求全部ヲ應諾シタル事實竝ニ九國條約會議開催ヲ目捷ニ控ヘ國際情勢頗ル機微ナル際ナルニモ鑑ミ之ヲ差控フルヲ得策ト認ムルヲ以テ差當リノ暫行措置トシテハ十月二十二日天津稅關長ノ承諾セル案ニ依リ處理セシム

(二) 右暫行期間中ニ於ケル(イ)稅收ノ政費流用(ロ)稅率ノ低減(ハ)邦人海關吏ノ増加等ハ現地ニ於テ是カ實現方努力セシメ中央ノ措置ヲ要スルモノニ付テハ關係中央ニ於テ協議ノ上是カ實現ヲ圖ル

(三) 今後南京政府ニ何等反省ノ色ナク之ヲ相手トシテ戰局ヲ收拾スルノ見込ナキニ至ラハ時機及方法ニ付對外關係ヲモ考慮シタル上支那側北支政權ヲシテ其ノ勢力範圍内ニ在ル各機關ヲ接收セシムルコトヲ考慮ス(此ノ場合帝國ハ右ニ何等干與セストノ建前ヲ執ル)

(四) 英、米、佛等本件ニ關シ帝國政府ニ申出ヲナシタル諸國ニ對シテハ帝國トシテハ本問題ハ現地ノ交渉ニ委ヌルコト然ルヘシト認メ居ル處是等諸國ノ支那海關ニ有スル利益ニ付テハ我方ニ於テ之ヲ侵害セントスルカ如キ意圖ナシトノ趣旨ヲ以テ應酬ス^(註略)

六、在京英佛大使ノ申出

尙十一月二日在京英國大使ハ堀内次官ニ對シ天津稅關長ノ約束ハ日本側ノ脅迫ニ依リ已ムヲ得スナシタルモノナリト述ヘタル次第アリタルニ依リ五日同大使次官ヲ來訪ノ際次官ヨリ十月二十二日附天津稅關長來信ヲ示シ同來信ニモ特ニ總稅務司ノ訓令ニ依ル旨ヲ記シアリ同稅關長トシテモ總稅務司ト連絡ノ上取極メタルモノニテ日本側ノ脅迫ニ依ルトハ全然事實ニ反スルモノナル旨説明セル處同大使ハ稅關長カ日本側ノ提案ヲ受諾セサルニ於テハ日本ハ稅關ヲ接收スルニ至ルヘキ氣勢ヲ示シタルコトハ事實ナルカ此點ハ兎モ角右稅關長ノ約束中外債擔保部分ヲモ送金セストノ點ハ全然訓令違反ニテ越權行爲ナル旨電報ニ接シ居レリト述ヘタリ

仍テ次官ハ右ノ如キ問題ハ税關ノ内部關係ニテ當方トシテハ總テ總稅務司ノ訓令ニ依リ稅關長ニ於テ處理シタルモノト認メ居リ東京ニ於テ本問題ヲ論議スルヲ得ス現地話合ノ儘ニナシ置クノ外ナシト述ヘタル處同大使ハ兎モ角外債負擔部分ハ送金スルコト出來マシキヤト申出タルニ付右ノ如キコトハ今更出來得ル話ニ非ス但シ外債負擔部分ハ確實ニ積立テ置クコトトナリ居リ外債所有者ノ利益保全ニハ十分意ヲ用ヒ居ル次第ナル旨説明セル處同大使ハ然ラハ外債支拂部分ヲ確實ニ積立テ置キ流用スルカ如キコトナキ様是非御配慮ヲ得度キ旨述ヘ居タリ

尙在京佛國大使ヨリモ十一月六日附公文ヲ以テ日本陸軍官憲カ外債擔保部分ノ南送ヲ阻止シ居ル旨申越セルニ依リ前記英國大使ニ對スルト同趣旨ニテ回答シ置キタリ

七、新政府ノ接收

中華民國臨時政府ハ十二月十四日北平ニ成立セルカ行政委員長王克敏ハ同月十五日「マイヤース」稅關長ニ對シ新政府樹立セラレタルニ付其ノ隸下ニ屬シテ同政府ノ目的ニ協力ヲ希望スル旨電報スルト共ニ溫世珍ヲ接收委員トシテ同日午後稅關ヲ訪問面談交渉セシメタル處「マイ

ヤース」ハ王ニ對シ希望ニ副フヘキ旨返電シ斯克シテ兎毛角接收ヲ了シタル形トナレル趣（以下略）

717 昭和12年12月1日

在上海岡本總領事より
広田外務大臣宛（電報）

上海方面の海關管理問題に關しわが方と上海稅關長の協議に先立ち英國側と協議ありたぎ旨の覚書を英國總領事提出について

別電 昭和十二年十二月一日發在上海岡本總領事より

り広田外務大臣宛第二四八一号

右覚書

付記 東亜局作成「昭和十二年度執務報告 第一冊

（第一課關係）」より抜粋

「上海海關問題」

第二四八〇號

上海 12月1日後發
本省 12月1日夜着

卅日午後英國總領事ヨリ是非共面會シ度キ旨申出アリ之ニ應シタル處何等豫告スル所ナク「ホールパツチ」同伴來訪

シ別電第二四八一號ノ如キ三十日附「プロメモリア」ヲ提出シタル上「ホ」カ主トナリテ發言シ關稅問題ニ付我方ト稅關長トノ間ノ話合ニ先チ英國側ト事前ニ協議アリ度ク右ハ貴大臣ヨリ「クレーギ」大使ニ對シ承諾アリタル由申出タルヲ以テ本官ヨリ例ノ通り我方トシテハ目下ハ稅關長ト折衝中ナル次第二シテ第三國ノ利益ニ對シテハ其ノ上ニテ「デューコンシダレーション」ヲ加フル意嚮ナル旨及未タ第三國ト會談スル時期ニ到達セサル旨竝ニ貴大臣ノ談モ右ノ範圍ヲ出テ居ラサルモノト承知スル旨ヲ述ヘタル處「ホ」モ最後ノ點ハ或ハ然ランモ天津ノ例ヨリ見ルニ日本ハ稅關長ニ壓迫ヲ加ヘ解決ヲ圖ルモノト斷セサルヲ得ス又稅關長ト中央政府トハ關係ナキヲ以テ稅關長トノ取極ニ南京ヨリ承諾ヲ取付ケ得ス日本ハ結局稅關長ヲ壓迫スルコトトナルヘシト述ヘタルニ付本官ヨリ第三國ノ利益ヲ尊重スヘシト言フ我方ノ態度ヲ貴方ニ於テ信用スルトセサルトハ自由ナルカ本官トシテハ前言ヲ繰返スヨリ外ナシ又上海稅關ノ話合ニ南京ノ承諾ヲ必要トスルヤハ日本側ノ關知スル所ニ非ス又目下平穩ニ話合中ナルヲ以テ貴方ヨリ何ト言ハレテモ現在ノ折衝ニ貴方ヲ介入セシムルヲ得サル旨ヲ説明

シタル處「ホ」ハ英國側トシテハ關稅收入ヲ正金銀行ノミニ預入ルルコトニセラルルコトハ如何ニスルモ同意スルヲ得ス自分ハ幾多ノ基礎案ヲ提出スル用意アルヲ以テ是非共話合ヲ開始シ度キ旨再三希望シタルニ付最後ニ本官ヨリ是等ノ案ニ付テハ何レ拜聽スル時期アルヘキ處右ハ我方トシテハ參考トシテ聞ク程度ナルコトヲ御承知アリ度ク本日ノ貴方申出ニ對シテハ單ニ不取敢覺書ヲ受取リタル丈ケノコトトシ置クヘキヲ述ヘ先方ハ明日ニモ話ヲ始メ度キ旨ヲ繰返シ引取りタリ尙「ホ」ハ他ノ關係國トノ聯絡ハ自分ニ於テ之ニ當ルヘキ旨ヲ述ヘタリ

佛總領事モ本一日英國ト同文ノ覺書ヲ持參セルニ付一應受取り置キタリ

北平、天津へ轉電セリ

英米へ轉電アリタシ

英ヨリ佛へ轉電アリタシ

(別電)

上海 12月1日後發
本省 12月1日後着

It is understood that assurances been given by Minister Foreign Affairs Tokio to effect that due consideration would be given to desiderata of foreign Powers concerned before any arrangement was come to between Japanese authorities and local Customs Officials Shanghai. It also understood that Minister Foreign Affairs stated that Japanese Consul-General Shanghai will be entering into direct communication with financial adviser to British Embassy with view to discussing this aspect of customs question.

In these circumstances British Consul-General is confident that nothing will be done to modify in any way existing arrangements for dealing with Customs revenue Shanghai pending outcome of conversations envisaged in preceding paragraph.

(付記)

上海海關問題

第一款 上海海關代行問題

上海ニ於ケル戰鬪開始以來楊樹浦方面ノ機關機能停止シタル處同地郵船支店側ヨリ同方面ニテハ日本側ニ於テ稅關手續ヲ實行シ度キ旨總領事館側ニ申出來リタルヲ以テ總領事館ニテハ種々考究ノ結果暫行的措置トシテ九月十日汽船會社及商工會議所代表者ヲ委員トスル「稅關事務臨時代行委員會」ナルモノヲ組織セシメ當分ノ間右委員會ヲシテ上海ニ於ケル日本船舶ニ對スル稅關事務ヲ代行セシメ徵收税金ハ之ヲ總領事館ニ供託セシムルコトヲ考慮セルカ軍側ノ反對アリテ實施セサリキ依テ總領事館ニテハ十月一日關係者ヲ招致シ會商ノ結果本件委員會ハ解消シ郵船其他ノ船會社ノ海關ニ對スル輸入稅等支拂保證ノ業務ニ關シ支那側トノ間ニ生スヘキ紛議ニ付テハ事變中及事變後ニ於ケル外交交渉ニ任スコトトセル趣ナリ

右ニ依リ本邦船ニ對スル稅關事務ハ全然實行セラレサルコトトナリタルカ其ノ結果生スヘキ弊害防止ニ付テハ現地ニ於テ關係者トモ話合ノ結果

(イ) 邦人商工會議所ノ肝煎ニテ輸入商ニ於テ當分ノ間軍需品及邦人ノ生活必需品以外ノ商品ノ輸入ハ差控フルコトニ

申合ヲ爲スコト

(ロ) 必要ニ應シ總領事館ヨリ一般在留民ニ對シ諭告其他ノ方法ニ依リ軍需品及邦人ノ生活必需品以外ノ商品ノ輸入ニ關シ自制ヲ勸告スルコト

(ハ) 軍側ノ協力ヲ求ムル等ニ依リ不必要品其他ノ輸入ヲ制限スルコトニ決定シ内地ニ於テモ之ニ對應シ然ルヘク措置方稟請アリタリ依テ當方ニ於テモ右ニ從ヒ關係省トモ協議ヲ遂ケタリ

第二款 上海海關接收問題

一、其後總領事館ニ於テハ上海附近ニ於ケル我方ノ軍事行動進捗シ上海包圍ノ態勢ヲ取ルニ至リタル場合ノ對海關處理方針トシテ大體天津ノ例ニ倣^(倣カ)ヒ十月下旬左記ノ案ヲ樹テ現地陸海軍側ト協議スル所アリタリ

(イ) 上海海關ハ直接間接之カ接收ヲ爲サル^(サセ)ルト共ニ稅則ハ中華民國國定稅率ヲ踏襲ス

(ロ) 上海海關ニ對シテハ軍需品ノ輸入禁止及關稅剩餘ノ抑留ヲ眼目トシ交渉ニ依リ左記實現ヲ企圖ス

(A) 上海海關ノ接收ハ確實ナル非支那銀行ニ預入セシム
(B) 稅關長ハ外債擔保部分及海關地方經費ヲ引出得

(C) 上海及青島在勤日本人稅關吏ヲ總動員スル外必要ナル員數ヲ増加シ會計、評價及外勤等ノ要所ニ配置セ

シム

(D) 軍需品ノ輸入ハ海關ニ於テ自發的ニ禁止ス

(E) 金銀ノ輸出ヲ嚴重ニ取締ラシム

(ハ) 右原則ハ海關ノ活動區域全般ニ及フモノトス但シ右話合ツカサル以前ニ於テモ狀況ニ應シ滙山、虹口、浦東、吳淞ニ於ケル海關ノ活動ヲ認ムルコトアルヘシ

(二) 前記交渉ハ總テ領事館又ハ大使館ノ處理スル所トス

(ホ) 蘇州河以南共同租界内海關事務所ニ對スル手入等ハ絶

對ニ之ヲ爲ササルヲ要ス

二、然ルニ現地陸軍側ニテハ大體接收論強ク管理案カ接收案(日本側稅關設置案)カニ付原則的意見ノ一致ヲ見サリシ趣ナル處其後我軍ノ上海包圍完成スルヤ十一月十一日松井司令官ハ外國新聞記者ト「インタービュー」ニ於テ租界ニ對スル軍ノ強硬ナル決意ヲ表明シ又總領事館側ニテモ共同租界並佛租界當局ニ對スル申入ニ於テ支那側機關ノ租界外撤退ヲ要求シタル外國記者團ニ對シテモ稅關ハ純然タル支那政府ノ内政機關ニシテ當然日本側ノ

監督又ハ處分ニ服スヘキモノナル旨説明セル經緯アリ海關側ニテモ此ノ際進シテ日本側ト接觸スルコトノ有利ナルヲ認メ來リタルモノノ如ク十一月二十二日上海稅關長「ローフォード」ハ海關問題ニ關シ個人的ニ日本側ノ意嚮ヲ聞クトノ立前ニテ岡本總領事ヲ來訪セリ

仍テ總領事館側ヨリ「ロ」ニ對シ

(一)上海稅關ハ差當リ日本ノ管理下ニ置カルルコトヲ明確ニシ置クコト必要ナリ軍側ニ於テハ接收ヲ必要トストノ意嚮モアル處總領事館側ニテハ差當リノ措置トシテ我方ノ有效ナル管理ヲ必要ト認ム

(二)右原則ヲ容認セル上稅關カ如何ニセハ日本ノ有效ナル管理ノ下ニ日本側ト圓滿ナル關係ヲ持シツツ活動ヲ續クルヤニ付テハ稅關側ニ於テ立案シ我方ニ相談シ來ルコト適當ト認ムルモ差當リノ思付トシテハ日本側ノ「スーパバイザー」ヲシテ稅收ノ檢査及武器軍需品ノ輸入積替並ニ金銀ノ流出等ヲ取締ラシムルコトハ最少限度必要ナリ

(三)日本側ト稅關側トノ間ノ話合着ク迄虹口、楊樹浦等ニ於ケル稅關ノ活動ハ日本側ヲ刺戟シ面白カラサルヲ以

テ從來日本側カ手ヲ觸レサリシ蘇州河以內「バンド」等ニ於テ有效ニ日本側ノ管理ニ服スル如ク「モーダスオペランデー」ヲ作りタル上上海港一般ノ問題ヲ考フルコトトシ度シ

(四)本件「ロ」及我方ノ話合ハ飽迄支那ノ行政廳ト其ノ管理者タル日本官憲トノ間ノ話合ナレハ第三國ノ利益即チ外債擔保部分及外國人職員ノ地位ノ如キハ右話合ノ題目ト爲スニ適セス此等ノ點ニ付テハ日本政府ハ第三國ノ立場ニ對シ適當考慮ヲ加フルモノト信スルモ第三國側又ハ國際銀行委員會等カ本件話合ニ介入スルコトハ我方ニ於テ之ヲ容認セス

トノ趣旨ヲ申入レタル處(右ノ外日本人稅關吏ノ登用、關務署鄭萊ノ追放等ニ付テモ言及セリ)「ロ」ハ御話ノ次第ハ能ク了解セルヲ以テ早速「モーダスオペランデー」ニ付テ研究シ總稅務司トモ相談ノ上何分ノ具體的話合ヲ決定シ度キ旨答タル趣ナリ

三、然ルニ稅關側ニテハ我方ノ持出シタル「スーパバイザー」案ニ怖ヲ抱キ之カ代案トシテ稅關本邦職員ヲ重要地位ニ登用シ我方ノ態度緩和ヲ圖ラント企テタルモノノ

如ク上海海關ノ「アドミニストラチブ、コミシヨナー」トシテ赤谷ヲ「レベニユー、アカウンタント」トシテ加藤ヲ任命セル處總領事館側ニテ更ニ交渉ノ結果稅關長ハ十一月二十六日岡本總領事ニ對シ書翰ヲ以テ稅關ニ關聯シ上海ニ於テ起レル新事態ニ即應スル爲遲滞ナク左記ノ者ノ任命方ヲ手配セル旨他ニ多數ノ現日本人職員ヲ任命撰擇中ニ付近ク通告スヘク又構内水上警察官ニモ日本人職員ヲ追加シ強化スヘキ旨申越セル趣ナリ

赤谷 「アドミニストラチヴ、コミツシヨナー」

榎倉 「アクチング、デピュチー、コム」(稅關長

祕書)

岡本 同上(チーフ、アプレザー)

小山田 同上(レベニユー、アカウンタント、オフィス)

加藤 「アシスタント」(同上)

平本 「チーフ、タイドサペヤー」(新規設置)

濱野 「アシスタント」(總務課)

杉山 「アクチング、ハーバー、マスター」(新規

設置)

四、次テ十一月二十五日岡本總領事ハ稅關長ト會談シ

(一)日本軍ノ占領地及蘇州河以北租界ニ在ル碼頭ハ專ラ日本人稅關吏ヲ派遣スルヲ以テ原則トスルコト(金利源碼頭ニハ二十七日ヨリ邦人稅關吏ヲ派スルコトトナレル由ナリ)

(二)稅收ハ輸出稅、轉口稅及附加稅ノ外噸稅、「ウオーフェーじ、デユー」、「コンサーバンシー、デユー」及統稅等總テ之ヲ正金銀行ノミニ預入レルコトトシ右ノ中「ウオーフェーじ、デユー」ノ上海市政府取分及統稅ハ我方ニ於テ取上タルコト

(三)外債擔保部分ノ處置ニ付テハ二十二日ノ會談ノ際述ヘタル通稅關長トノ話合ノ題目トスルニ適セス

トノ三項ヲ申入置キタル趣ナリ但シ「コンサーバンシーデユー」及噸稅ニ付テハ其後二十九日ノ會談ノ際同總領事ヨリ右ハ手數料的性質ナレハ差當リ現狀ニテモ不可ナカルヘキ旨ヲ述ヘタル由ナリ

第三款 上海海關問題ニ關スル列國ノ申出

一、上海ニ於ケル申出

英國駐支財務官「ホールパツチ」ハ十一月中旬在上海岡崎總領事(廈門)ニ對シ上海海關問題ニ關シテハ關稅收入

中海關經費ヲ控除シ外債擔保部分ハ保管銀行ニ預入レ剩餘有ラハ之ヲ南京ニ送付セシメサル方法ニテ折合ヒ度シトノ私的意見ヲ開陳セルニ付同總領事ハ日本側ニテハ到底斯ル提案ニハ同意スル筈ナシトテ取合ハスシテ別レタル趣ナリ

十一月二十三日岡本總領事ハ英、米、佛、伊總領事トノ非公式會合ニ於テ上海海關問題ニ關スル質問ニ對シ本問題ハ支那政府機關タル點ヨリスレハ新事態ニ對シ我方ニ於テ有效ニ管理スヘキハ當然ニシテ其ノ國際的性質ヲ有スル方面ニ付テハ外債擔保部分及外國人職員ノ地位ニ付我政府ニ於テ相當ノ考慮ヲ拂フ以上第三國ニ於テ文句ヲ言ヘサルモノト思考スル旨ヲ説明セル處各總領事ハ特ニ重大ナル異論ヲ挾マサリシ趣ナリ

十一月二十七日英佛總領事ハ相次テ岡本總領事ヲ來訪シ同文ノ「プロ、メモリア」ヲ以テ「目下上海稅關長ニ對シ稅收ハ正金銀行ニ預入スル様壓力加ヘラレ居ル由ナル處東京ニ於テ既ニ折衝中ニ付右結果判明スル迄上海ニ於ケル現取扱ヲ變更スルカ如キ何等ノ過早ナル手段ニ對シテハ英佛國總領事ハ強ク反對ナル旨」ヲ申入レ來レルヲ

以テ岡本總領事ヨリ目下支那政府ノ機關トシテノ稅關長ト平穩ニ話合進行中ニテ第三國關係ノコトハ問題トナリ居ラス又第三國カ右話合ニ干渉セラルルハ理解ニ苦シム旨ヲ以テ應酬シ置キタル趣ナルカ翌二十八日ニハ米國總領事ヨリモ右英、佛總領事口上書ト同趣旨ヲ口頭ニテ申出來レルヲ以テ英、佛總領事ニ對スルト同様應酬シ置キタル趣ナリ

二、東京ニ於ケル申出

(イ)十一月十九日英國大使堀内次官ヲ來訪シ上海ニ於ケル日本軍力稅關ニ對シ「ドラスティツク」ナル措置ヲ執ラントシツツアル趣ニテ憂慮ニ堪ヘス本件ハ關係國間ノ話合ニ依リ圓滿解決ヲ圖リ度ク詳細ハ追テ申入ルヘキモ事態切迫シ居ルニ付不取敢上海ニ於テ右様急激ナル措置ニ出テサル様御取計ヒアリ度キ旨述ヘタリ

(ロ)同二十二日更ニ英國大使ハ次官宛半公信ヲ以テ「ホー、パッチ」財務官ハ稅關問題ニ關シ岡崎總領事ト協議スルヘク訓令セラレタルニ依リ日本側ニ於テモ岡崎總領事ヲシテ「ホ」ト話合ハシムル様訓令方希望スルト共ニ稅關監視船黃浦江改修局所屬船拿捕ニ關シ照會

スル所アリタリ尙同日佛國大使ハ公文ヲ以テ佛國側ノ
權益ニ付注意ヲ喚起スルト共ニ日本軍側ノ接收決議(つて)ヲ
延期セシムル様措置アリ度キ旨申越セリ

(ハ) 同二十五日英國大使大臣ヲ來訪シ關係列國ト協議ノ必
要ヲ力説シ現状ニ於テハ日本軍側カ強力接收ヲナスカ
或ハ日本政府ハ列國トノ話合ヲナス用意アルカノ何レ
カナリト認メラルル處日本モ遠カラサル將來ニ於テ英
國ノ好意協力ニ俟ツ所アルヘキニ付願クハ前者ニ依ラ
ス後者ニ依ル様致サレ度シト申出テタルニ依リ大臣ヨ
リ出先ニ於テハ支那政府機關トシテノ海關ト話合ヲナ
シ居ルモノニシテ今直ニ強力接收スルカ如キコトナカ
ルヘク若シ現地ニ於テ接收ヲ必要ト認ムル場合ニハ何
レ請訓シ來ルヘキニ依リ豫メ訓令ノ要ナカルヘシ日本
政府トシテハ出來得ル限り英國側權益ヲ尊重スル意向
ナリトノ趣旨ヲ述ヘ置キタリ

(ニ) 翌二十六日英國大使ハ大臣宛半公信ヲ以テ岡崎總領事
ハ「ホール、パッチ」トノ交渉ヲナササル様認メラレ
タル趣ナル處更ニ眞偽確メ中ナルモ右ハ上海ニ於ケル
事態ノ不満足ナルヲ示スモノナルニ付不取敢注意ヲ喚

起スル旨述ヘ左記英國政府試案ヲ送附越セリ

1. Creation of an international banker's commission as trustees for all interests concerned.
2. This commission ^(representative*) to comprise one representative of each of the American, British, French and Japanese banks.
3. Customs revenue from all China to be centralized at Shanghai under the control of the commission.
4. Deposits to be divided in four equal shares, one share to banks of each nationality.
5. Payments of loans and indemnity in accordance with the principle of priority to be made out of the net Customs revenue in respect of all Chinese Government obligations secured on the Customs that were receiving service as of July 1st, 1937.
6. The arrangement to be operated by the Inspector General of Customs under the supervision of the commission.
7. The arrangement to obtain during the hostilities.

尙同日米國大使ヲ來訪シ上海ニ於ケル日本官憲ハ第三國ヲシテ交渉ニ干與セシメサルヘキ旨ノ報道ヲ得タルカ米國政府ハ米國ノ權益ヲ十分尊重セラルヘキヲ信シ右ニ從ヒ措置セラルヘキコトヲ切望スルモノナル趣述ヘ同趣旨ノ覺書ヲ殘シ置ケリ

(注)同二十八日英米兩國大使ハ相次テ大臣ヲ來訪シ略々同趣旨ノ公文ヲ手交シ本問題討議ニ關係國代表參加方要求セルニ付大臣ヨリ海關ハ支那ノ機關ナルヲ以テ第三國ノ介入ハ主義上認メ得サルモ外國權益ノ尊重ハ十分考慮シ居ル旨應酬セルカ更ニ英國大使ニ對シテハ我方出先ト關係國代表トノ間ニ連絡ヲ保チ其ノ意見ヲ聽クコトハ差支ナカルヘキニ付此點ハ出先ニモ通シ置クヘキ旨述ヘ置キタリ

尙佛國大使ヨリモ同二十九日附公文ヲ以テ英米側申出ト同様趣旨ヲ申越セルニ付右ノ次第上海ニ通報シ從來ノ建前ヲ持シツツ第三國側ト聯絡ヲトル様訓令シ置ケリ

718 昭和12年12月15日 在天津堀内總領事より
広田外務大臣宛(電報)

天津および秦皇島海關接收後における臨時政府の税関事務措置案について

天津 12月15日後発
本省 12月16日前着

第一三二七號(部外秘)

海關事務ニ關スル件

政府ハ天津海關及秦皇島海關ノ下ニ塘沽分關及北京分關ヲ塘沽分關ノ下ニ大沽分。下ヲ又秦皇島海關ノ下ニ山海關分關ヲ置ク

海關事務ハ原則トシテ從前ノ例ニ依リ之ヲ處理スルモ政府ノ施政方針ニ基キ左ノ諸點ニ付改正ス

一、滿洲國及關東州ハ之ヲ外國トシテ扱フ

從テ

甲、滿洲國又ハ關東州仕向ケ輸出セラルル物品ニ付テハ

輸出税ヲ課ス

乙、滿洲國又ハ關東州ヨリ仕出シ輸入セラルル物品ニ付

テハ輸入税ヲ課ス

三、從來ノ海關出口稅則及海關進口稅則中舊政府カ特ニ國際的差別待遇ヲ目的トセルモノ、經濟開發ニ支障アルモノ及庶民ノ生活安定ノ爲必要アリト認ムルモノ若干ニ付之ニ妥當ナル改正ヲ加ヘ本月二十日ヨリ之ヲ實施ス
即チ

甲、海關出口稅則中別表第一號(見当ラズ)ノ通り改正ス

乙、海關進口稅則中別表第二號(見当ラズ)ノ通り改正ス

三、從來ノ歲入附加稅ハ之ヲ廢シ別ニ災區救濟ノ爲ニ當分ノ間輸出物品及輸入物品ニ付其ノ稅額ノ百分ノ五ノ稅率ニ依リ賑災附加稅ヲ課ス

四、小麥粉ハ當分ノ間其ノ輸入稅ヲ免ス

五、本政府ニ所屬セサル海關ノ發給スル輸入稅納付濟證ハ其ノ效力ヲ認メス

六、本政府ニ所屬セサル海關ノ發給スル噸稅執照ハ其ノ效力ヲ認メス但シ本日より以前ノ發給ニカカルモノニ付テハ此ノ限りニアラス

右佈告ス

中華民國二十六年十二月(二十キ)日

中華民國臨時政府行政院委員會委員長 王克敏

編注 本電報第一三二七号は別電となつてゐるが、その本電は見当らない。
~~~~~

719 昭和13年2月2日 在英国吉田大使より  
広田外務大臣宛(電報)

臨時政府の關稅率改正等に関する英国外相の  
下院での答弁振り報告

ロンドン 2月2日後發  
本省 2月3日前着

第八四號

二日下院ニ於テ外相ハ日支問題ニ關シ左ノ如キ答辯ヲ爲セリ

中國臨時政府ハ過般北支稅率改正ニ關スル法令ヲ公布セルカ英國政府ハ「稅率ハ全支ヲ通シ均一タルヘシ」トノ條約規定ニ違反スルヲ以テ右ニ抗議シ居レリ又上海工部局日本職員增加方ニ關スル要求ニ付テハ市參事會ニ於テ關係國政府ト接觸シ折角考究中ナリ日本ノ軍事行動ニ依リ英國人ノ蒙リタル損害ニ付テハ累次抗議シ來レルカ其ノ未解決ナル

モノニ對シテハ之カ圓滿ナル妥結ヲ圖ルヘク努力シ居レル處米國政府亦同種事件ニ關シ同様ノ措置ヲ執リツツアリ政府ハ極東ノ複雜ナル事態ニ鑑ミ關係主要國トモ終始密接ナル關係ヲ保チツツアルカ右諸國トノ間ニ完全ナル意見ノ一致アルヲ見ルハ欣快トスル所ナリ云々

尙右諸事件ニ關シ日本政府ハ陳謝以外如何ナル措置ヲ執レリヤトノ問ニ對シ外相ヨリ或場合ニハ賠償ヲ支拂ヒタル旨ヲ答ヘ又英國政府ハ聯盟決議(聯盟國ハ支那ノ領土權侵害セラルル場合必要ナル援助ヲ與フヘシ)ヲ實行ニ移スヘキ何等ノ措置ヲ講スルヤトノ問ニ對シテハ答辯ヲ拒否シ上海ニ於ケル通信檢閱問題ニ付テハ既ニ必要ナル措置ヲ執リタル旨答ヘタリ

720 昭和13年2月12日 在北京森島大使館參事官より  
広田外務大臣宛(電報)

### 中国関税収入中の外債負担部分の支払い問題 に関する特務部の意向について

付記 昭和十三年二月十日、陸軍・海軍・外務三省

課長會議決定

右支払い問題へのわが方処理方針に関する広田外務大臣より在上海岡本総領事宛電報案

北京 2月12日夜発  
本省 2月12日夜着

#### 第二〇〇號(極秘)

本官發上海宛電報

第二二號

天津宛貴電第二五號ニ關シ

楠本大佐モ大体既電ノI、G處理案及大臣發貴官宛電報第

二〇一號ノ外債擔保部分處理方法ニ異存ナカリシニ付特務

部側ニ對シ更ニ念ヲ押シ置キタリ

尙特務部係官ハ必要ナラハ曩ニ過去ノ天津ノ外債負擔部分ヲ上海ニ送金シテモ差支ナク兎モ角成ルヘク速ニ北支ノ外債負擔部分ヲモ解決シ剩餘ノ利用ヲ計リ度シ(負擔部分解決セサレハ一定額ヲ積立テ置キ剩餘ハ處分スヘシ)トノ氣持ナルカ一方正金ニ預金セラレアル法幣ノ稅收ハ正金ヲシテ密ニ磅ヲ買ハシメアリ新銀行ノ外貨資金ニ充當スル筈ナルニ付過去ノ外債擔保部分全部ヲ一時ニ送金(右磅ヲ賣リテ法幣ニテ)スルコトハ避ケ度シトノ財政顧問ノ意見モア

り過去ノ負擔部分ヲ全部一時ニ送金スルコトニ話纏マル場  
合ハ豫メ送金ノ時期方法等ニ付當方ト協議ヲ請フ(新銀行  
券ニ依リ法幣ヲ回收スルノ時期ニ至ラハ右法幣ニテ送金ヲ  
爲シ得ルニアラスヤト思ハル)  
大臣、天津、青島へ轉電セリ

編注 本文書付記の電報案が発電されたものと思われる。

(付記)

Ⓢ (二月十日陸海外三省課長會議決定)

廣田外務大臣

在上海

岡本總領事宛

關稅擔保外債支拂ニ關スル件

一月十九日附貴信機密第一五三號及貴電第三五六號ニ關シ  
陸海軍トモ話合ノ上左ノ如ク大体貴案通り決定セルニ付右  
御含ノ上交涉ヲ進メラレ度シ

一、稅關ノ強力接收ハ之ヲ行ハス從來ノ經緯ヲ辿リ外交交渉  
ニ依リ外債支拂並稅收ノ正金預入ヲ實現セシム

三、外債支拂負擔割合ハ客年九月乃至十二月ノ收入ヲ基準ト

シ一箇年位ノ暫行的決定トス但シ交渉ノ模様ニヨリ已ヲ  
得サル場合ニハ負擔割合ヲ(一)客年七月乃至十二月ノ六ヶ

月ノ平均割合(二)客年一年間ノ割合ノ順序ニ依リ妥協シ差  
支ナシ(漢口側支拂停止ニ對スル留保ハ之ヲナスノ要ナ

シ。但團匪賠償金ノ現實取得ヲ期ス)

三、右外債ノ支拂及負擔割合決定ニ付テハ外國側トモ交渉ス  
ヘク右ハ先ツ上海限リノ問題トシテ進ムル建前ナルモ交  
渉ノ模様ニ依リテハ北支ヲモ含ム全般的问题トシ差支ナ

シ

四、總稅務司宛送金ヲ中止セル時期以降支拂ヲ實施シ差支ナ

シ(委細郵報)

721 昭和13年2月18日

中国海関の保全に関する米國大使館口上書に

ついて

☆支那稅關保全ニ關スル件

(昭和三、二、八東亞一)

二月十七日午後「ドウマン」米國大使館參事官吉澤亞米利加局長ヲ來訪シ本件ニ關シ何等ノ回答無キハ遺憾ナリ中間の返事ニテモ可ナル次第ニテ何ナリト御返事アレハ米國側トシテモ對處ノ致シ様モアルヘキモ何モ御申越ナキニ於テハ勢ヒ強イコトヲ申上ケサルヲ得サルニ至ル譯ナリト「コメント」ヲ述ヘ別紙口上書ヲ手交セリ

(別紙)

支那稅關保全ニ關スル件

(昭和三二、一八東亞一)

二月十七日附米國大使館口上書要領

口上書

客年十二月二十三日及同二十七日ノ兩日米國大使ハ外務大臣閣下ニ對シ支那稅關保全ノ維持ニ對スル米國ノ關心ヲ纏述シ稅關ノ保全及權威ノ維持ニ關スル日本政府ノ保障ニ對スル希望ヲ表明セル書翰ヲ差出ス光榮ヲ有セリ米國政府ハ支那稅關ノ收入ニ利害關係ヲ有スル政府ノ一トシテ稅關問題ノ解決ニ關シ如何ナル案ヲ審査スルニ先立チ日本政府ヨリ支那稅關行政ヲ破壞シ稅關收入ヲ以テスル外債償還部分

ノ支拂ヲ困難ナラシムル如キ行爲ヲ執ラス又之ヲ容認セサル旨及更ニ前記債務ノ償還ハ支那稅關ノ經費ヲ差引キタル稅收ニ對スル第一次ノ負擔トシテ取扱フヘキ旨ノ廣汎且的確ナル保障ヲ期待スルモノナリ米國大使ハ敍上趣旨ノ保障ヲ日本政府ヨリ受領センコトヲ熱心且斷定的ニ希望シ日本政府カ今後爲スヘキ如何ナル取極ニ於テモ十分ノ注意ヲ以テ稅關ノ行政機構及手續ヲ保存シ正當ナル外債及賠償金償還ノ用意ヲ爲スヘキコトヲ要請ス

編注 本口上書の原文は見当らない。

722

昭和13年3月12日

在天津堀内総領事より  
広田外務大臣宛(電報)

臨時政府が実施した關稅率改訂に対する英米諸國の抗議に鑑み第二次改訂に当たつての外  
國向け説明振り請訓

天津 3月12日後発

本省 3月12日夜着

第二七〇號(部外極秘)

最近貴電合第四〇八號人絹布ノ問題其ノ他ノ稅率改正方ニ付種々ノ陳情モアリ軍側ニ於テ第二回ノ稅率改正ノ必要アリトシテ至急右立案方ヲ當方ニ依頼シ來リ居ルニ付當方トシテハ一應ノ案ヲ作成シ軍側ニ提示スル所存ナル處(軍側カセツツキ來ラサル限り軍側ニ提示前内密ニ本省ト打合スコト勿論ナリ)先般ノ一部稅率改正ニ對スル英米佛ノ抗議ニモ鑑ミ第二次改正ヲ外國側ニ對シ如何ナル建前ニテ説明スヘキヤハ相當考慮ヲ要スヘク又先般ノ舊稅率適用方ノ英國側提議ニ對シテモ如何ナル御方針ヲ執ラルルヤ未タ承知セス將又上海ニテ研究中ナルヤノ稅率改正トノ關係ニ關スル貴見モ明瞭ナラス是等諸點ニ關シ一應ノ貴見ニテモ前記立案ノ都合モアルニ付折返シ御回電ヲ請フ

北京、上海、青島、芝罘へ轉電セリ

723 昭和13年4月5日 在上海日高總領事より  
 広田外務大臣宛(電報)

米国よりの米中棉麦借款の權利保全要求に對する回答振り請訓

別電 昭和十三年四月五日發在上海日高總領事より

広田外務大臣宛第一一〇三號  
 右回答案

第一一〇二號  
 上海 4月5日後發  
 本省 4月5日夜着

往電第五七五號ニ關シ  
 本件ニ關シテハ曩ニ「ゴース」ヨリ一月十八日附覺書ヲ以テ棉麥借款ノ權利保全ニ關シ申入アリタル(東京ニ於テモ同一ノ申入ヲ爲シタル筈)ニ對シ今日迄回答ヲ差控ヘ居タル處「ゴ」ヨリ再三督促アリタルヲ以テ別電第一一〇三號ノ通り回答スルコトト致度キ處本省ニ於ケル應酬振ヲ承知シ居ラサル次第ニモアリ何分ノ儀御回電アリ度シ  
 本電別電ト共ニ北京、天津へ轉電セリ

(別電)

上海 4月5日後發  
 本省 4月6日前着

第一一〇三號

蘇浙皖稅務總局ハ曩ニ從來ノ上海統稅及内地稅機關ニ代フ

ルモノトシテ設立セラレ既ニ共同租界及佛租界當局ヨリ業務遂行上従前ノ機關ト同様ノ地位ヲ認メラレ内外商民モ齊シク納稅ヲ實行シ居ルコトト本官ニ於テ承知シ居リ又一九三一年及一九三三年ノ米國側借款ノ元利ハ關稅ヨリ支拂ハレ居ルコト御承知ノ通りナリ  
御來示ノ趣旨ハ支那側官憲ニ對シ申出テラルヘキ筋合ト認メラルル次第ナルカ本官トシテモ便宜中支新政權ニ之ヲ取次キ置キタリ

724 昭和13年4月25日 第三委員會決定

### 「中華民國新政權關稅暫定改正二關スル處理

#### 方針

中華民國新政權關稅暫定改正二關スル處理方針

一三、四、五 第三委員會決定

#### 第一 方針

現下ノ狀勢ニ於テ我方占據地域ニ於ケル中華民國各地海關ヲ我實權下ニ接收シ得ル基礎ヲ確立スルコト急務ナルヲ以テ速ニ海關制度ノ改善ヲ圖ルト共ニ左記方針ニ依リ新政

權ヲシテ關稅改正ヲ行ハシムル如ク措置スルモノトス

#### 第二 要領

- 一、差當リ臨時暫定ノ改正ヲ行ヒ引續キ速ニ日支經濟提携ノ趣旨ニ基キ根本的改正ヲ實施セシムルコト
- 二、關稅改正ニ當リテハ我方指導ノ下ニ北支及中支兩政權ノ意見一致ノ下ニ兩政權ノ關稅自主權ヲ堅持シツツ之ヲ行ハシムルコト
- 尙改正稅率及其ノ實施時期等ニ付兩政權ヲシテ同一歩調ヲ取ラシムルコト
- 三、今回ノ改正ニ當リテハ原則トシテ一九三一年ノ稅率ヲ實施スルコト
- 一月二十日實施ノ臨時政府改正稅率表中別表一(省略)ニ掲グル二十一品目及備考ハ之ヲ存置スルコト
- 別表二(省略)ニ掲グル品目ニ付テハ改正稅率中ニ於テ現行稅率ニ存置方極力努ムルコト
- 兩政權新稅率公布ニ當リテハ一九三一年稅表ソノモノヲ修正スルノ形式ニ依ルコト
- 稅目ノ數量單位ハ現行ノモノニ依ルコト
- 四、新政權財政ノ確立及賑災復興等ノ目的ヲ以テ必要アル場

合ニハ特別ノ附加税ヲ課スル等ノ措置ヲ講ズルコト

五、輸出税ニ關シテハ一月二十日實施ノ臨時政府改正稅率ヲ

中支ニモ適用スルコト



725 昭和13年4月27日

東亞局第一課が閣議説明資料として作成した

中国關稅收入外債負擔部分の處理に關する日

英交渉の經過概要

關稅擔保外債支拂問題(日英交渉經濟概要(閣議説明資料))

(昭和二三、四、二七、亞一)

帝國軍ノ占領地域ニ於テハ我方ハ支那海關ノ收入ガ國民政府ノ手ニ移ルコトヲ防止スルト共ニ將來成立スベキ新政權ノ爲メ財源ヲ確保スルノ目的ヲ以テ右海關收入ノ拂出ヲ差止ムルノ措置ヲ執リタリ然ルニ支那海關收入ヲ擔保トスル外債ノ償還ハ事變以後モ國民政府ニ於テ非占領地域ヨリノ海關收入ヲ以テ之ニ充テ居タル處本年二月我方ニ於テ上海海關收入ノ漢口宛送金ヲ差止ムルニ及ビ國民政府ハ外債支拂ニ窮スルニ至リ英米佛等ノ對支債權國ハ帝國政府ニ對シ

類リニ外債支拂ノ繼續及海關制度ノ保全ニ付申入ルル所アリ我方ニ於テハ占領地内ノ支那海關ニ對スル實權ヲ確立スルト同時ニ外國權益尊重ノ既定方針ニ基キ海關收入ノ處分ニ關シ昨年十一月以來上海ニ於テ交渉ヲ行ヒ次デ本年二月下旬以來堀内次官及「クレイギー」在京英國大使トノ間ニ非公式話合ヲ繼續シタル結果最近ニ至リ占領地内ノ海關收入ハ全部橫濱正金銀行ニ預入ルコトトスルト共ニ右收入ヨリ外債ヲ分擔支拂フコトニ日英間ノ意見一致シ又右解決案ニ付テハ新政府ニ於テモ異議ナキコトヲ確メタリ

仍テ來ル三十日帝國政府ヨリ之ヲ英國政府ニ正式ニ通報シ英國側ヨリ右ニ異議ナキ旨回答アル筈ナリ米、佛兩國側ニ對シテハ英國大使ニ於テ是迄屢次聯絡シ居タル次第ニシテ兩國共事實上右解決案ニ異議ナキ模様ナリ又國民政府側ニ對シテハ英國側ヨリ然ルベク本件解決案ヲ内報シテ納得セシムル手筈ナリト云フ

右英國側ニ通報スベキ解決案ハ事變中ニ限ル暫行的取扱ニシテ又諸般ノ經濟狀況ニ今後重大變化アラバ更ニ再考スルコトトナリ居ルモノナルガ其ノ内容ハ前月ノ各海關收入ノ全支收入ニ對スル割合ニ依リ毎月ノ外債分擔額ヲ算定シテ

之ヲ支拂フト共ニ各海關ノ收入ニシテ現ニ香上銀行ニ積立テアルモノ並將來徵收セラルベキモノハ總テ正金銀行ニ之ヲ預入セシムルコトヲ骨子トスルモノニシテ尙客年九月以降國民政府ニ於テ香上銀行ニ供託シ支拂ヲ實行セザリシ對日團匪賠償金未拂分ハ此ノ際一括日本政府ヘ支拂フコト並ニ將來日本ニ對シ外債支拂上差別待遇ヲ爲サザルベキコト等ヲモ含ムモノナリ本件日英間ノ話合ヒハ日本側ハ事實上ノ占領者タリ又新政府ト債權國間ノ斡旋者タルノ立場ニ於テ之ヲ行ヒ他方英國側ハ最モ關係深キ債權國トシテ之ニ當レル次第ニシテ勿論前記外債支拂等ノ責任ハ新政府ノ負擔スル所ナリ

726 昭和13年5月2日

### 中国関税收入外債負担部分の処理に関する日

#### 英取極

- 付記一 右取極の合意に関する日英往復書簡
- 二 右取極の留意点に関する日英往復書簡
- 三 右取極合意に当たつての堀内外務次官とク

レーギ―大使との会談記録

#### 關稅擔保外債取極

- 一、日本占領地域内各港支那海關ノ徵收スル關稅、附加稅、課稅其他ノ諸收入ハ總テ稅關長ノ名義ヲ以テ橫濱正金銀行若ハ同銀行ノ支店ナキ地方ニ在リテハ協議ノ上決スヘキ其他ノ銀行ニ保管セラルヘシ
- 二、右預入セラレタル輸入稅、輸出稅、轉口稅及水災附加稅中ヨリ一九三七年七月現在海關稅收ヲ擔保トスル外債及賠償金ノ定期且完全ナル支拂ニ充ツル爲外債「クオータ」ヲ十日ヲ超エサル期間毎ニ上海正金銀行ニ於ケル總稅務司勘定ニ送金スヘシ
- 三、海關收入ノ擔保外債及賠償金ノ償還ハ全支各港ニ於テ總收入中ヨリ總稅務司ノ證明アル海關行政維持費(總稅務費用ノ分擔ヲ含ム)及ヒ其ノ他同様證明セラルヘキ通常ノ支出及補助(從來外債支拂ニ先ツツテ控除セラレタルモノ)ヲ控除セル後ノ第一擔保トシテ取扱レルモノトス
- 四、(A)各港ノ外債「クオータ」ハ前月ニ於ケル全港ノ總收入ニ對スル其ノ港ノ收入ニ比例シ毎月決定セラルヘキモノトス

- (B) 外債「クオータ」ハ支那海關ノ輸入、輸出、轉口各稅總收入ヲ基礎トシテ計算セラレ且ツ此等「クオータ」ハ總稅務司ニ於テ前(A)項ノ通り決定シ日本其他關係各國ノ同意ヲ得ヘキモノトス
- (C) 北支及中支ニ於ケル日本占領地域内ノ一港ニ於テ海關收入カ「クオータ」支拂ニ不足スルトキハ夫々右各地域内ノ他ノ港ノ收入ニヨリ補顛セラルヘキモノトス
- 五、(A) 一九三七年九月以降香上銀行海關假勘定ニ積立テアル團匪賠償金日本取得分未拂額ハ日本政府ニ支拂ハルヘキモノトス
- (B) 團匪賠償金日本所得分並二一九一三年善後借款ノ將來ノ支拂ハ關稅擔保ノ全外債及賠償金ノ償還ト同様ニ行ハルヘキモノトス
- (C) 現在上海香上銀行ニ預金シアル一九三八年一月及二月分ノ外債及賠償金償還未拂額(總額三、九六、五七、三三元)ハ之カ擔保關係ニアル借越金返済ノ爲引出サルモノトス
- (D) 日本占領地域内各港香上銀行ニ於ケル海關預金殘高ハ右殘高ノ存在スル各港ノ正金支店ニ於ケル稅關長勘定

ニ預替シ將來ノ外債「クオータ」支拂ニ利用セラルヘキモノトス

六、以上ノ取極ハ一九三八年五月三日ヨリ效力ヲ發生シ一九三八年三月以降ノ海關收入ニ適用セラル

1. All duties, surtaxes, dues and other revenues collected by the Chinese Maritime Customs at each port within the areas under Japanese occupation shall be deposited in the name of the Commissioner of Customs with the Yokohama Specie Bank or, where the Bank has no branch, with any other bank or banks to be agreed upon.
2. From the import, export and interport duties and the flood relief surtax thus deposited, foreign loan quotas shall be remitted, at intervals which should not exceed ten days, to the Inspector General's account at the Yokohama Specie Bank in Shanghai in order to meet in full on due dates the service of the foreign loans and indemnities which were secured on the Customs revenue in July, 1937.
3. The service of foreign loans and indemnities secured on

the Customs revenue shall be treated at all ports in China as a first charge on the revenue after deducting the maintenance expenses of the Customs Administration (including the share of the expenses of the Inspectorate General) as certified by the Inspector General of Customs and such customary payments and grants (hitherto deducted from gross revenue before payment of foreign obligations) as are similarly certified.

4. (a) Foreign loan quotas for each port shall be determined monthly in proportion to the share of that port in the total gross collections for all ports during the preceding month.

(b) Calculations in respect of foreign loan quotas shall be based on the gross import, export and interport duty collections of the Chinese Maritime Customs and these quotas shall be determined as set out in (a) above by the Inspectorate General of Customs, with the agreement of Japan and the other Powers concerned.

(c) Any insufficiency of Customs revenue to meet the

quota of any port within the areas under Japanese occupation in North China and in Central China shall be made good from the Customs revenue of other ports in the respective areas.

5. (a) The arrears on the Japanese portion of the Boxer Indemnity held in a suspense account at the Hongkong and Shanghai Bank since September 1937 shall be paid to the Japanese Government.

(b) Future payments of the Japanese portion of the Boxer Indemnity as well as the Japanese share of the Reorganisation Loan of 1913 shall be made in the same manner as in the servicing of all foreign loans and indemnities secured on the Customs revenue.

(c) The arrears on the foreign loan and indemnity service for January and February 1938, at present deposited in the Hongkong and Shanghai Bank at Shanghai (amounting to \$3,966,576.32) shall be released to meet the relevant overdraft for which they act as security.

(d) The balance of the Customs accounts with the

Hongkong and Shanghai Bank in each port under Japanese occupation shall be transferred to the account of the Commissioner of Customs at the branch of the Yokohama Specie Bank in each port at which such a balance exists and utilised for future foreign loan quota payments.

6. The above arrangements shall come into effect on May 3rd, 1938 and shall apply to the Customs collections beginning with March 1938.

(在留 1 )

May 2nd, 1938.

Your Excellency,

As a result of the conversations which have recently taken place between Your Excellency and Mr. Horinouchi respecting the service of the foreign obligations secured on the Chinese Maritime Customs revenue and other relevant matters, I have the honour to inform Your Excellency that the Japanese Government, after obtaining the concurrence of the Chinese authorities in the occupied areas, are now

desirous of dealing with these matters on the lines set forth in the accompanying document and are prepared to effect the measures described therein. It is understood that the measures are of a temporary nature for the duration of the present hostilities and will be subject to reconsideration in the event of a radical change in the economic conditions under which the above measures are proposed.

I trust these arrangements will prove acceptable to His Majesty's Government in the United Kingdom.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(L.S.) Minister for Foreign Affairs

一九三八年五月二日附廣田外務大臣發在京英國

大使宛書翰譯文

以書翰啓上致候陳者支那海關收入ヲ擔保トスル對外債務ノ償還其他ノ關係事項ニ付過般來閣下並ニ堀内次官ノ間ニ行ハレタル會談ノ結果ニ基キ本大臣ハ閣下ニ對シ帝國政府ハ占領地域内ニ於ケル支那側政權ノ同意ヲ得タルニ付附屬書

記載ノ趣旨ニ依リ是等事項ヲ處理致度意向ニシテ右措置ヲ實行ニ移ス用意アル次第ナルコトヲ通報スルノ光榮ヲ有シ候但シ右措置ハ今次事變繼續中ニ於ケル暫行的ノモノニシテ又之ヲ提議セル際ニ於ケル經濟情況ニ甚大ナル變化アルトキハ更ニ再考セラルヘキモノト諒解致候  
本大臣ハ英國政府ニ於テモ以上ノ取扱ニ異存ナカルヘキコトヲ確信スルモノニ有之候  
右申進旁本大臣ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

敬 具

May 2nd, 1938.

Your Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of the note which Your Excellency was good enough to address to me on the 2nd May, 1938, respecting the service of the foreign obligations secured on the Chinese Maritime Customs revenue and other relevant matters.

His Majesty's Government in the United Kingdom recognise that the present position creates great

difficulties for which it is urgently necessary in the interest of all countries concerned, to find a solution and I have accordingly been authorised to state that His Majesty's Government will, for their part, raise no objection to the application of the temporary measures set forth in Your Excellency's note and its enclosure.

I am further instructed to take this opportunity to emphasise once more to Your Excellency the interest which my Government take in the maintenance in every respect of the authority and integrity of the Maritime Customs Service.

I avail, etc.

(Sgd.) R. L. Craigie

一九三八年五月二日附在京英國大使發廣田外務大臣宛回答假譯文

以書翰啓上致候陳者支那海關收入ヲ擔保トスル對外債務ノ償還其他ノ關係事項ニ關スル一九三八年五月二日附本使宛書翰止ニ受領致候英國政府ハ現下ノ情勢カ齋ラセル異常ノ

困難ニ付テハ關係諸國ノ利益ノ爲解決ヲ講スルコトノ緊急  
必要ナルヲ認メ閣下ノ書翰及同添付書類記載ノ臨時的措置  
適用ニ對シ英國政府トシテハ異議ナキ旨回答スルコト本使  
ニ許シタリ

尙本使ハ此ノ機會ニ於テ閣下ニ對シ英國政府ハ支那海關制  
度ノ權威及統一カ總テノ點ニ於テ維持セラルヘキコトニ付  
利害關係ヲ有スルコトヲ再ヒ強調スヘキ旨訓令ヲ受領致候

(付記1)

British Embassy, TOKYO.

2nd May, 1938.

CONFIDENTIAL

My dear Vice-Minister,

With reference to the notes which are being  
exchanged today in regard to the Chinese Maritime  
Customs, I should be glad if, in order to avoid future  
misunderstanding, Your Excellency would be so good as to  
give me an assurance that the quotas for foreign  
obligations payable by the Northern ports in Japanese

occupation will be remitted in a currency which will enable  
the Inspector General to effect the necessary transfer into  
the currencies in which the foreign obligations are  
serviced. This question arises particularly in connection  
with the recent decision to create a new currency in  
Northern China.

Believe me,

My dear Vice-Minister,

Yours very sincerely,

(Sgd.) R. L. Craigie

His Excellency

Mr. Kensuke Horinouchi,

H.I.J. M. Vice Minister for Foreign Affairs.

一九三八年五月二日附在京英國大使發堀内外務

次官宛書翰假譯

支那海關問題ニ關シ本日交換セラレタル書翰ニ付今後ノ誤  
解ヲ避クル爲日本占領地區内ニ於ケル北部諸港ノ支拂フヘ  
キ外債ノ「クオータ」ハ總稅務司カ外債ヲ償還スヘキ通貨

ニ兌換シ得ヘキ通貨ニテ送金セラルヘキ旨確認セラルルコトヲ得ハ欣幸トスル次第ナリ本問題ハ最近北支那ニ於テ新通貨ヲ發行スヘキ旨ノ決定アリタルニ關聯シ特ニ發生セルモノナリ

CONFIDENTIAL

May 2nd, 1938.

My dear Ambassador,

With reference to your letter of today I am glad to be able to give you the assurance that the quotas for foreign obligations payable by the Northern ports in Japanese occupation will be paid in Chinese national currency (Fa Pi), on the understanding that the Inspector General of Customs will arrange for the supply of the necessary amount of foreign exchange for the conversion of these sums from Chinese national currency (Fa Pi) into currencies in which the foreign obligations are serviced.

Believe me,

My dear Ambassador,

Yours very sincerely,

(Sgd.) K. Horinouchi

His Excellency

The Right Honourable

Sir Robert Craigie,

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary,

TOKYO.

一九三八年五月二日附在京英國大使宛堀内次官發

回答案假譯文

本日附貴翰ニ關シ日本占領地區内ニ於ケル北支那諸港ノ支拂フヘキ外債ノ「クオータ」ハ支那國通貨(法幣)ヲ以テ支拂ハルヘキ旨但右ハ總稅務司ニ於テ所要額ヲ支那國通貨(法幣)ヨリ外債ヲ償還スヘキ通貨ニ兌換スルニ必要ナル外國爲替ヲ調達シ得ルコトヲ條件トスルモノナル旨ノ確答ヲ閣下ニ致シ得ルハ本官ノ欣幸トスル所ナリ

(在臨川)

CONFIDENTIAL

Record of Meeting on the Chinese Maritime Customs Question between Mr. Horinouchi and Sir Robert Craigie at Ministry of Foreign Affairs on May 2nd, 1938.

Point 1. Customary Grants

To prevent any possibility of misunderstanding Mr. Horinouchi and Sir Robert Craigie agreed that the wording of paragraph 3 of the proposed arrangement was intended to cover not only the customary payments normally made by the Commissioners of Customs before remitting the balances to the Inspector General of Customs but also those payments normally made by the Inspector General himself before meeting the service of the foreign obligations.

Point 2. Method of obtaining exchange for transfer of

North China quotas.

Mr. Horinouchi pointed out that the Tientsin Branches of the Bank of China and the Bank of Communications have considerable credit balances at the Shanghai offices of

these banks. The best way to enable the Tientsin Branch of the Yokohama Specie Bank to remit the foreign loan quotas from ports in North China to its Shanghai Branch would be to let the Tientsin Branches of these Chinese Banks sell remittance bills against these credit balances. He asked that the British authorities should use their influence to secure the cooperation of the Chinese banks to that end. Sir Robert Craigie stated that although this would involve great difficulty the British authorities in China would be prepared to place this proposal before the Chinese Banks concerned.

In reply to Sir Robert Craigie's enquiry as to what further measures would be taken for the creation of the necessary exchange, Mr. Horinouchi stated that, should this prove necessary, it was intended to use in full the deposits which were to be transferred to the Yokohama Specie Bank from the Hongkong and Shanghai Bank at Shanghai. Tientsin and Chingwangtao for the payment of foreign loan quotas due from ports in North China.

Sir Robert Craigie stated that, according to a telegram received from H.M. Ambassador in China, the amount of the balance in Hongkong and Shanghai Bank at Shanghai of the Shanghai Customs Revenue Account, Revenue Surtax Account and Flood Relief Surtax Account amounted to \$24,829,703.46 up to and including April 29th last. The similar balance in Tientsin and Chingwangtao was \$1,762,841.85.

Point 3. Foreign Obligations covered by the proposed Arrangement.

Sir Robert Craigie stated that it was his understanding that paragraph 2 was intended to cover not only those loans which were directly secured on the Customs revenue but also the foreign obligations having the Customs revenue as a contingent security, i.e. the Tientsin-Pukow and Hukuang Railway Loans. The contingent liability of the Customs in respect of the latter loan did not arise until 1941, so that, so far as he was concerned, the only loans enjoying a contingent charge which would fall within the

scope of the present arrangement were the Tientsin-Pukow Railway Loans. Sir Robert Craigie added that the principal and interest of these loans were secured on the railway revenue, but the Customs were to make good deficiencies in interest payments. The contingent liability of the Customs for the remainder of the present year was £125,000; for each year 1939 to 1941 inclusive £307,000; the liability thereafter slowly decreasing.

Mr. Horinouchi replied that he was prepared to recognise the contingent interest of these loans in the Customs revenue on the understanding that certain Japanese loans which had a contingent charge on the Customs revenue, should also be regarded as covered by the arrangement. As examples he quoted two principal loans involved, namely:

- (a) 6% Treasury Note in Gold Yen for the Compensation of Public Properties and Salt Interests in Tsingtao (1923)
- (b) Chinese Government 8% Bonds for Refunding

Internal and Foreign Short-term Debts (1922) —  
so-called Japanese Portion of the 96 million Dollar  
Loan.

He added that the Japanese Government had no present intention of putting forward a claim that any of these loans should be serviced out of the Customs revenue.

Sir Robert Craigie stated that no objection would be raised by his Government for their part in the event of the Japanese Government putting forward claims in connection with these Japanese loans. He also concurred in the view expressed by Mr. Horinouchi that the status of the various loans was not affected one way or the other by the fact that they would be regarded as falling within the scope of the proposed arrangement.

編注 本会談録の日本語は見当らない。

~~~~~

727

昭和13年5月3日

中国海關問題に関する日本政府発表

(昭和十三年五月三日)

支那海關問題ニ關スル帝國政府発表

本問題解決ハ所謂交換公文ノ形式ヲ備ヘタル

モノニ非ス日本側ヨリ措置案ヲ通報セルニ對

シ英國側ヨリ簡單ニ異議ナキ旨回答アリタル

ノミナリ

支那關稅收入ヲ擔保トセル外債ノ償還其ノ他關係事項ニ關シ去ル二月以來在京英國大使「クレイギー」氏及堀内外務次官ノ間ニ非公式會談行ハレタリ右意見交換ノ結果帝國政府ハ英國政府ニ對シ今次事變繼續中帝國政府力之等問題處理ノ爲執ラムトスル暫行措置ヲ通報シタルニ對シ英國政府ニ於テモ同政府ノ關スル限リ事變中右暫行措置ヲ適用スルニ異存ナキ旨ノ回答ニ接シタリ

前記措置ハ事變中ニ限ル暫行的ノモノニシテ又諸般ノ經濟狀況ニ今後重大變化アラハ更ニ再考スルコトトナリ居レルモノナルカ右ニ依レハ日本軍占領地域内各港ノ海關力徵收シタル一切ノ稅收ハ橫濱正金銀行ニ預入セラルヘク右様預入セラレタル稅收中ヨリハ關稅擔保外債並賠償金ノ償還ヲ

ナス爲外債負擔部分ヲ總稅務司宛送金スルコトトナリ居レリ右外債及賠償金ノ償還ハ從來通海關經費其他常例ノ支出ヲ差引キタル稅收ニ對スル第一擔保タルヘク又各海關ノ外債負擔部分ハ前月ノ各海關收入ノ全支收入ニ對スル割合ニ依リ毎月算定セラルヘシ

本件措置ハ更ニ客年九月以來香上銀行ニ供託セラレ居リシ對日團匪賠償金延滞分ハ之ヲ日本政府ニ交附スルコトトスルト共ニ將來ノ團匪賠償金日本受取分竝二一九一三年善後借款日本分ハ今後トモ諸外國ニ對スルト同様支拂ヲ實施セラルヘキモノトナシ居レリ尙日本軍占領地内ノ各海關ノ香上銀行ニ於ケル預金ハ本年一月以降上海稅關ノ外債支拂ノ爲總稅務司カ借越セル金額ヲ差引キ總テ橫濱正金銀行ニ引渡サルヘク右引渡ヲ受ケタル預金ハ將來ノ外債償還ニ利用セラルヘキコトトナリ居レリ

728

昭和13年5月3日

在上海日高總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日本軍占領地域における中国關稅收入の横浜

正金銀行保管を總稅務司承諾について

別電

昭和十三年五月三日發在上海日高總領事より
広田外務大臣宛第一四〇六号

右承諾の旨の上海稅關長より横浜正金銀行宛
書簡

上海 5月3日後發

本省 5月3日後着

第一四〇五號(極秘)

往電第一三九七號ニ關シ

二日夜「スコット」及「カボン」ノ斡旋ニ依リ三日朝「ローフォード」ヨリ「メーズ」宛不可抗力トシテ今後ノ稅收ヲ正金ニ預入方異議ナキヤ書面問合ヲ爲シ右ニ對シ「メ」ヨリ同意ノ旨文書回答ヲ爲シタル上三日附ヲ以テ「ロ」ヨリ正金宛別電第一四〇六號ノ如キ書面ヲ提出スルコトトナリ三日午後一時右様處置ヲ了セリ尙香上ノ「バランス」ヨリ正金ニ預入方ノ件竝ニ團匪賠償金對日未拂部分ノ處分ニ付テハ英國側ハ漢口側ノ回答ヲ一兩日待チタル上實現セシメ度キ意嚮ナルカ當方トシテハ即時實行シ得ル様英國側ヨリ「メ」ノ責任ヲ「カバー」シ遣ルコトヲ英國側ニ要求中ナリ不取敢

本電宛先北京、天津

(別電)

上海 5月3日後発
本省 5月3日後着

第一四〇六號

I am authorised by the Inspector General of Customs to request you this day to open in my name as Shanghai Commissioner of Customs the following revenue accounts:

Commissioner of Customs Revenue (gold unit) Account:
Commissioner of Customs Revenue (Doller) Account:
Commissioner of Customs Flood Relief Surtax (G. U.) Account:
Commissioner of Customs Flood Relief Surtax (\$) Account:
Commissioner of Customs Flood Relief Surtax Account:
and to credit them with my daily revenue collections

as received.

Kindly note that these accounts will be operated by me a specimen of my signature is given bellow.

Please give me the usual cheque books and pass books.

~~~~~

729 昭和13年5月3日 在上海日高総領事より  
広田外務大臣宛(電報)

香港上海銀行に保管される関税収入残高の横

浜正金銀行への移管要求について

上海 5月3日後発  
本省 5月3日夜着

第一四一一號(至急、極秘)

往電第一四〇五號ニ關シ

一、上海香上ノ残高ヲ正金ニ移スコトニ「ローフオード」ノ支拂命令ノミニテ實行シ得ル次第ナルヲ以テ必スシモ團匪賠償金停止勘定ノ解除ニ關係ナク早速實現方「ロ」ニ迫ル積リナルカ日英了解ノ實施ニ關スル障礙ノ除去方「クレーギー」ニ申入レ相煩度シ

二、右概ネ實現ノ上又ハ餘リニ遲延スル場合ニハ新政權ニ依

ル税關ノ接收ニ移リ度キ意嚮ナルカ其ノ方法トシテハ海關監督(李建南ヨリ二十八日維新政府ノ命ニ依リ二日「ロ」宛公文ニテ通報セリ)ヲシテ税關長ニ對シ引續キ維新政府ノ隸下ニ税關長トシテ勤務シ今後同政府ノ命令ニ基キ行動方特ニ剩餘ノ處分ニ付テハ政府ノ指示ニ從フヘキコト等ヲ申渡シ「ロ」カ之ヲ承諾セル場合ニハ維新政府ノ名ニ於テ税關接收ヲ了スル旨公表方ヲ考慮シ居ルモ「ロ」カ命ニ從ハサル場合ニハ病氣休暇ヲ取ラシメ亦谷ヲシテ代行セシムル必要アルヘシ右御含迄

北京、天津へ轉電セリ

730 昭和13年5月6日 在上海日高総領事より  
広田外務大臣宛(電報)

維新政府による上海海關接收完了について

上海 5月6日後発  
本省 5月6日後着

\*  
\* 第一四四三號(大至急)

往電第一四三一號ニ關シ

六日午前十時田尻及曾禰李建南ヲ案内シ(陸海軍特務部同

道)海關事務所ニ「ロ」フオード」ヲ往訪(赤谷立會)李ヨリ別電第一四四四號(見附之)ヲ讀上ケ「ロ」ノ希望ニ依リ之ヲ手交シタル處「ロ」ハ旗ノ件ニ關シ暫ク待タレ度シト述ヘタルカ他ノ點ニ關シテハ別ニ意見ヲ述ヘサリシヲ以テ李ヨリ維新政府ノ任命狀ヲ「ロ」ニ手交シ之ニテ圓滿ニ接收ヲ終レリ尙「ロ」ハ近ク李ヲ答訪スルコトニ打合濟本電別電ト共ニ北京、天津、青島、芝罘、濟南、南京、香港、滿へ轉電セリ

731 昭和13年5月6日 在上海日高総領事より  
広田外務大臣宛(電報)

中国関税收入処理に関する日英取極を非難する中国側要人の談話報道報告

上海 5月6日後発  
本省 5月6日夜着

\*  
\* 第一四四八號

新聞報道ニ依レハ日英間海關協定ニ關シ支那某要人ハ本協定ハ英國側トシテハ外債保有者ノ保護及海關制度ノ維持ノ動機ニ出テタルコトハ了解スルモ支那ノ同意ナクシテ侵略

國タル日本ト英國トノ間ニ勝手ニ支那ノ重要行政タル海關ニ關シ協定ヲ遂ケタルハ遺憾ニシテ其ノ内容ニ付テモ遺憾ノ點多ク例ハ外債ヲ優遇シ以テ内債ニ關スル海關ノ擔保價值ヲ傷ケ又預入銀行ヲ中立國銀行ヨリ敵國銀行ニ變更シ日本ニ支那人ノ納付スル關稅ヲ以テ支那ヲ侵略スルノ便宜ヲ與ヘ居レリトノ趣旨ノ談話ヲ發表セル趣ナリ  
北京、天津へ轉電セリ

732 昭和13年5月6日

在上海日高總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

中国關稅收入處理に關する日英取極の即時完  
全履行を英國側に要求すべき旨請訓

上海 5月6日後發

本省 5月6日夜着

第一四五一號(極秘)

往電第一四五〇號ニ關シ

累次往電ニテ御承知ノ通り英國側ハ目下漢口ヲ説得中ナリトテ未タ協定ノ履行(賠償金ノ支拂及香上殘高ノ引渡)ヲ「メーズ」等ニ實行セシメ居ラサル一方本日ノ稅關接收ハ

全く圓滿ニ行ハレ何等英國側ニ協定履行ノ責ヲ免ルルノ口實ヲ與フルモノニアラサルモ或ハ斯ル言懸リヲ見出サントシ居ルヤモ測リ難キニ付御如オナカルヘキモ此ノ際先手ヲ打チ更メテ強ク「クレীগー」ニ對シ即時履行方御申聞相成ルコト切望ニ堪ヘス  
北京、天津へ轉電セリ

733 昭和13年5月10日

在英國吉田大使より  
広田外務大臣宛(電報)

中国關稅收入處理に關する日英取極の成立に  
満足を表する英國外務次官の吉田大使宛私信  
について

ロンドン 5月10日後發

本省 5月11日前着

第三二五號

日英海關取極成立ニ關シ「カドガン」ハ六日附本使宛私信ヲ以テ満足ノ意ヲ表シ左ノ通り申越セリ

I should like to express my personal satisfaction at seeing successful outcome of negotiation on this

complicated and difficult question. Sir Robert Craigie has been authorised, as well, to convey in Tokyo our appreciation of helpful attitude shown in this matter by Minister of Foreign Affairs and Vice Minister of Foreign Affairs.

734 昭和13年5月18日  
在天津田代総領事より  
広田外務大臣宛(電報)

中国関税収入処理に関する日英取極の履行を  
天津税関長へ要求について

天津 5月18日後発  
本省 5月18日夜着

\*\*\*\*  
第五四〇號

貴電第三二八號ニ關シ(海關「マリン、デパートメント」  
ノ件)

十八日「マイヤース」ニ對シ日英協定ノ内容ヲ外務省發表  
通り(但シ正金ニ預金セラルヘキ稅收ハ一切ノ稅收ニシテ  
「クオータ」ノ計算及送金ハ輸入稅等ヨリ爲スモノナルコ  
トヲ明カニシ置ケリ)通報シ噸稅及地方附加稅等ノ收入ヲ

正金ニ預金方公文ヲ以テ要求シ置ケリ尙十七日萩原カ  
「マ」ニ右ノ次第ヲ豫告シ置キタル際「マ」ハI、Gヲ督  
促スル意味合ニテ日英協定ノ内容ヲ日本總領事ヨリ通報セ  
ラレタルカ其ノ細目及之ニ對スル處置振回電アリ度キ旨電  
報ヲ發シ之ニ對スル「メーズ」ノ回答振ヲ見ルコトシタ  
ルモ「メ」ノ回答ノ如何ニ拘ラス噸稅收入等ノ預金移轉ヲ  
實行スヘシト述ヘ居タル由  
上海、北京、青島、芝罘へ轉電セリ

735 昭和13年5月31日

臨時政府ならびに維新政府の関税改正に關す  
る情報部長談話

中華民國臨時政府竝ニ維新政府ノ關稅改正ニ關スル  
情報部長談(五月三十一日)

今般中華民國臨時政府竝ニ維新政府ハ新輸出入稅則竝ニ轉  
口稅則ヲ制定シ六月一日ヨリ之ヲ實施スル旨發表シタカ新  
稅則ノ要點ハ次ノ諸點テアル  
(イ)新輸入稅率ハ原則トシテ一九三一年一月一日ヨリ實施ノ

稅則ヲ「メートル」制ニ換算セルモノヲ採用シ之ニ去ル  
一月二十日中華民國臨時政府ノ公布セル改正稅率ノ一部  
(二十品目)ヲ据置キタルモノヲ北支中支ヲ通シ統一的ニ  
實施スルコトトセルコト

(ロ)新輸出稅率ハ去ル一月二十日中華民國臨時政府ノ公布セ  
ルモノヲ其儘上海方面ニモ實施スルコトトセルコト

(ハ)新轉口稅率ハ客年十月一日以降上海方面ニ於テ改正實施  
セルモノヲ北支方面ニモ實施スルコトトセルコト

先ツ新輸入稅率ノ標準トナツタ一九三一年ノ輸入稅率ハ國  
民政府カ一九二九年列國ニ依ツテ承認セラレタル關稅自主  
權ニ基イテ制定シタ最初ノ國定稅率テアツテ我カ對支輸出  
品ニ對スル稅率モ大體穩當ナモノテアツタ其ノ後國民政府  
ハ一九三三年及三四年等ノ關稅改正ニ當リ主トシテ稅收增  
加ノ目的上相當範圍ノ稅率引上ヲ行フト共ニ右日支關稅  
協定ノ期間滿了ヲ口實ニ或種邦品ニ對シテ不當ニ高率ナ輸  
入稅ヲ課シテ之カ輸入ノ防遏ヲ圖ツタノテアルカ右排日關  
稅ノ撤廢方ニ關シテ帝國政府ハ國民政府ニ對シ屢々交渉ヲ  
行ツタコトハ衆知ノ點テアル

今回臨時及維新兩政府カ以上ノ様ナ不都合ナ稅率ヲ全廢シ

一般的ニ稅率ノ低イ且排日稅率ヲ含マナイ一九三一年ノ  
稅率ヲ採用シタコトハ我國ニ取ツテモ諸外國ニトツテモ歡  
迎ニ値スルモノト認メラレル勿論數年前ノ稅率ヲ復舊スル  
ノテアルカラ最近ノ情勢ニ適應シナイ憾ナシトシナイカ關  
稅改正ノ如キハ充分ノ時日ト慎重ナ研究ヲ要スル問題デア  
ルカラ支那事變モ未タ終結セス從ツテ又中國ノ經濟ノ基礎  
モ充分確立シテキナイ今日トシテハ右ハ蓋シ已ムヲ得ナイ  
處置ト言ハサルヲ得ナイデアアラウ尙新銳稅率中ニハ去ル一  
月二十二日以來臨時政府カ民衆救濟及復興ノ目的ヲ以テ北  
支方面ニ於テ實施シテキタ約六十品目ノ改正稅率中約二十  
品目ヲ選ンテ之ヲ存置シテキルカ之亦其ノ性質上時宜ヲ得  
タ措置ト認メラレル

次ニ輸出稅率ハ去ル一月二十二日以來臨時政府カ實施シテ  
キタ輸出稅率ヲ其ノ儘採用シ又轉口稅率ハ客年十月一日以  
來上海方面ニ於テ實施サレ來ツタモノヲ採用シタカ此等ハ  
共ニ支那關稅統一上尤モナ處置テアルト言ハネハナラヌ  
要之今回ノ稅率改正ハ一般的ニ見テ稅率ノ引下ケテアリ且  
邦品防遏ヲ目的トスルカ如キ稅率ヲ撤廢シタモノテアルカ  
ラ我國ニトツテモ又諸外國ニ對シテモ大體穩當ナ改正テア

ルト言ハネハナラヌ又支那關稅制度カ臨時及維新兩政府ノ緊密ナ提携ニ依ツテ再ヒ確乎タル統一ノ下ニ待來<sup>(待)</sup>サレタコトハ新支那ノ將來ノ爲眞ニ慶賀ニ耐エヌ次第デアル。

編注 本文書は、昭和十三年十二月、情報部作成「支那事變

關係公表集(第三號)」から抜粋。

736 昭和13年6月7日 在天津田代總領事より  
宇垣外務大臣宛(電報)

### 關稅率改訂の經濟的影響につき報告

天津 6月7日後發  
本省 6月7日後著

#### 第五九九號

新關稅ノ當地經濟界ニ及ホセル影響ハ(一)對奧地交易不能ノ爲取引不振ヲ續ケ(二)換物人氣ニ基ク思惑輸入品ノ「ストツク」激増シ居ル折柄(三)比較的活潑ナル荷動キヲ示シ居ル建設材料食料品其ノ他ノ主要輸入品ハ第一次改正ニ依リ既ニ低稅實施セラレ居リ且(四)最近對外爲替ノ急崩落等ノ爲「マ一ケツト」ニ左シタル動キヲ示シ居ラス其ノ實效ノ顯ハル

ルハ奧地交易常態ニ復シ龐大ナル「ストツク」カ或程度消化セラレタル後ト見ラル尙加工綿布ノ大幅引下カ紡績織布捺染業ニ相當ノ打撃ヲ與ヘ護謨「タイヤ」及硫化染料類ノ引下ハ當地邦人工場ニ相當ノ打撃トナリ又釘ノ三割引下カ支那人釘工場ノ操業ヲ不能ナラシム等土着工業ニモ相當ノ影響アルモノノ如シ

綿糸ハ第一次改正ト些シタル變リナク生地綿布ハ第一次ニ比シ却テ引上トナリタルモ加工綿布引下ケラレタル結果今後此ノ輸入漸増スヘク當地工場製生地綿布ニモ或程度壓迫トナルヘシ人絹糸ハ變化ナク人絹布四割以上ヲ引下ケラレ將來ノ輸入増加必至ト豫想セララルモ目下冀東物「ストツク」多量アリ且實需不良ノ爲「マ一ケツト」變化ナシ工材機械工具類ハ多少引下ケラレタルモ殆ント影響ナシ精糖ハ第一次ヨリ多少引上トナリシモ「マ一ケツト」動カス洋紙染料ニ於テモ大差ナキモ硫化「ブラツク」ノ大幅引下ハ當地工場ノ操業ヲ不能ナラシムヘシ  
支、上海、南京、濟南ヘ轉電セリ

737

昭和13年8月3日

在上海日高総領事より  
宇垣外務大臣宛(電報)

## 中国関税収入処理に關する日英取極の英国側

## 履行遷延に對し根本的解決策回示方請訓

上海 8月3日後發

本省 8月3日夜着

## 第二三七一號(極秘)

一、上海香上殘高(六月中分ノ善後借款負擔額ヲ控除スレハ二千四百萬弗)モ日英取極ノ精神ニ從ヒ七月末迄ノ外債「クオート」ヲ差引クモノト假定セハ僅カ八、九十萬弗見當ヲ剩スノミトナル勘定(六月廿四日附往信機密第一八九〇號參照外ニ北支香上殘高約二百三十萬弗アルハ御承知ノ通り尙七月三十日附往信機密第二三九〇號總稅務司署經費分擔問題モアリ)トナリ最早八月分外債支拂ニ當リテハ從來ノ如ク香上殘高引渡遷延ノ爲新政權海關ヨリノ「クオート」支拂モ實行セストノ不確定ナル狀態ノ持續ヲ許ササルヘク從テ我方トシテハ日英協定履行ノ建前ヨリ此ノ際總稅務司ヲシテ取極通り對日賠償金ノ引渡等ヲ爲サシメ懸案ヲ一舉ニ解決スルコト常道ナルヘキ處

右不可能ナルニ於テハ或ハ(イ)中央銀行ノ借越及三、四兩月ノ Banks Quota ハ優先的支拂ヲ認メサル建前ニテ右相當額一千三百萬弗程度ノ殘存額アリト爲シ當分從來通り占領地内「クオート」ノ支拂ヲ爲サシムルカ又ハ(ロ)賠償金ハ自主的ニ取得スル覺悟ノ下ニ香上殘高ノ有無ニ拘ラス占領地下ノ收入ハ正金預金ニ依リ外債支拂ヲ爲ササルノ決意ヲ固ムルカ何レカニ決定セサルヘカラサル時機到來セルモノト認メラル

二、右ニ付テハ東京ニ於テ折角御考慮中ト存スル處前記ノ如ク時日切迫シ居ルト共ニ從來ノ如ク徒ニ時日ヲ遷延スル内ニ經濟狀況ニモ變化ヲ生シ例ヘハ法幣ノ下落、占領地内負擔率ノ増加(六月ハ六十二「パーセント」、七月モ上海ニ關スル限り收入増加シ居レリ)香上殘高消費ニ依ル北支「クオート」南送ノ困難等ノ實質的理由生シ來ルコトアルヘク又一般的ニ言フモ我方トシテハ取極ノ精神ハ重ンスルモ五月ノ成立當時ニ遡テ取極通り實施スルコトニ輕々ニ贊成スルコト得策ナリヤ否ヤノ議論モアリ此ノ際前記ノ常道論モ一應再檢討ノ要アリト存セラルル次第ナルカ少クトモ「クレイギー」邊ニ對シ團匪賠償金其ノ

他ノ問題解決ヲ嚴重督促スルト共ニ我方トシテハ五月ノ取極ヲ再檢討スルノ必要ニ迫ラルルヤモ知レサル困難ナル立場ニ置カレ居ル旨説明シ之以上問題ノ遷延ヲ許ササルモノナルコトヲ印象付クルコト肝要ト思惟セラル尙當方ニ於テモ右趣旨ニテ「メーズ」ニ決斷ヲ促シ度キ所存ナルカ本件ニ關シ何分ノ儀至急御回訓相成度シ  
北京、天津へ轉電セリ

738 昭和13年8月15日

在上海日高總領事より  
宇垣外務大臣宛(電報)

日英取極の履行遷延に対し英国側に嚴重交渉  
方意見具申

上海 8月15日後發  
本省 8月15日夜着

第二四八六號(極祕)

貴電第一二九三號ニ關シ(日英海關取極實施ノ件)

御來示ニ依レハ(一)英國側トシテハ漢口ヲ說得シ得サル限り假ニ香上殘高千二百萬元ヲ支拂ニ當テタリトスル場合其ノ全額費消後ニ於テモ日本側ニ對シ正金預金ヨリノ支拂實行

方ヲ要求シ得サル筋合ナリ(二)我方トシテハ取極通りノ實行ナラハ何時ニテモ應スヘシ(一年間モ「バツククオータ」カ滯納セル後一舉ニ支拂ヒテモ差支ナキ結果ヲモ招來スル譯ナリ)(三)殘高引渡問題ニ多少色ヲ着ケテ團匪賠償金支拂ヲ實行セシムル見込ナキ今日協定ノ實行ヲ英國側ニセツツク要ナシトノ御意見ノ處

(一)ニ付テハ英國側カ爾ク遠慮深シトモ存セラレサルモ問題ハ英國側ノ出方如何、日英抗爭ノ反響如何、支那側ノ惡宣傳如何竝ニ右ニ對スル我方ノ肚ト準備アリヤ等ノ諸點(二)存スル處飽迄御來示ノ如ク取極ノ實行ナキ限り正金ヨリハ一文モ支拂ハストノ方針ヲ堅持セラルル次第ナリ  
ヤ

(二)ニ付テハ前記括弧(派)内ノ事態ヲ如何ニ處理セラルル御考ナリヤ現地側トシテハ何日迄モ稅關長名義ノ儘ニシ置キ何日「バツククオータ」ヲ支出スルカ不確定ノ狀態ニ置カ  
ルル(更ニ北支ノ「クオータ」ノ立替拂ヲ必要トスルヤ否ヤモ不明ナリ)コトハ到底堪エサル所ナリ

(三)ニ付テハ先方ノ都合如何ニ拘ラス我方トシテハ御來示ノ如キ消極的態度ニ出ツヘキニアラスシテ少クトモ英國側

ヨリ諸般ノ懸案解決方話シ出ツル度毎ニ本件ヲ攻道具トシテ用ヒ團匪賠償金ノ外更ニ北支「クオータ」支拂ニ關聯スル英國側ノ約束履行方ヲ強ク迫ル必要アルヘキハ勿論ニシテ假ニ我方ニ於テ協定ノ履行カ何日ニナリテモ夫レ以前ノ「クオータ」ハ週及的ニ支拂ツテ遣ル意嚮ナリトシ右意嚮カ英國側ニ洩レルニ於テハ英國側(及 I・G)トシテハ協定履行ニ何等熱意ヲ持タサルヘシト思考セラル

如上ノ次第二付往電第二三七一號ノ一ノ(ロ)案ニ一舉ニ行カストモ千二百萬元以上ノ「バツククオータ」ノ支拂ヲ日本側ニ期待スルハ出來サル相談ナルヲ以テ日本占領地稅關「クオータ」支拂カ右金額ニ達スル以前ニ協定ノ完全ナル履行ヲ取計フカ然ラサレハ支那側カ取得スヘキ千三百萬元ハ之ヲ抛棄セシメ之ヲ五月以降ノ日本占領地稅關「クオータ」支拂ニ充當シ「クオータ」支拂總額カ二千五百萬元ニ達スル以前ニ於テ協定ヲ履行スルカ何レカヲ英國側ニ於テ撰擇スヘク何レノ場合ニ於テモ協定履行ナキ限り正金預金ヨリ「バツククオータ」支拂ハ期待シ得サル旨ヲ以テ英國側ニ強ク御交渉相成様切望ニ堪エス七月一日ノ「メーズ」

宛通告ハ漢口側ノ立替拂カ香上殘高以内ナルコトヲ前提トセルモノナルヲ以テ右カ香上殘高以上トナレル八月以降ニ於テハ依然トシテ従前ノ我方態度ヲ繼續スル能ハサル事態ナリト思考セラルルニ依リ特ニ右稟申ス  
北京、天津へ轉電セリ

739 昭和13年8月17日

在上海日高總領事より  
宇垣外務大臣宛(電報)

北清事變賠償金の対日支払い再開など日英取  
極の履行を総稅務司に強く要求について

上海 8月17日後発

本省 8月18日前着

第二五〇二號

<sup>(1)</sup> 往電第二三三一號ニ關シ

谷公使ヨリ

十六日「メーズ」來訪總稅務司署費用問題ニ關シ日本側ニ於テ他ノ稅關費用ノ支拂ヲ認め居ルニ反シ總稅務司署費用ノミ停止セルハ了解スルニ苦シム金額モ極メテ少額ナレハ列國トノ關係ノ紛糾ヲ避クル爲支拂停止解除サレンコトヲ

望ムト述ヘタリ依テ本使ヨリ右ハ過般「ローフオード」ヨリ日高總領事ヘ申入アリ之ニ對シ同總領事ヨリ日英協定ノ不履行カ現狀通りニテハ之ニ應スルヲ得スト回答セリト承知シ居レルカ日英協定モ時ノ經過ニ依リ解決シ易クナレル部分モアリ今日主トシテ實際上問題トナルハ團匪賠償金ノ支拂ナルカ漢口政府モ重慶ニ移轉シ其ノ地位モ日ニ日ニ地方的トナラントスル今日本使カ嘗テ漢口政府ノ地位惡化ニ伴レI、Gノ「ボンド、ホルダース」ノ「トラスチー」タルノ地位重要トナルト述ヘ貴總稅務司ノ贊成ヲ得タルコトヲ想起スル時ニアラスヤ團匪賠償金モ稅收ニ依リ保障サレ居ル點他ノ債權ト何等異ル所ナシ然ルニ右ノミ支拂ヲ爲サル謂レ全然ナシ若シ日本政府カ協定當時斯カル不公平ノ行ハルルヲ知りタリトセハ協定ニ應セザリシナラン元來「ク」大使カ先見ノ明ヲ以テ稅關ノ保全ハ素ヨリ關係者全體ノ利益ノ爲締結シタル協定カ英國側ノ無理解ノ態度ノ爲實行不能ニ陥ラントシツツアルハ遺憾ニ堪ヘス貴總稅務司ニ於テモ費用カ必要ナラハ賠償金ノ問題ノ解決ヲ希望スト述ヘタルニ「メ」ハ實ハ過般關稅署長鄭萊カ來レル際關稅收入ノ最近ノ情勢ヲ述ヘ今後六箇月ニハ日本占領地ノ

收入益々増加スヘシトノ趣旨モ加ヘ日英協定履行カ漢口ニ取り得策ナル所以ヲ力説シ置キ彼モ相當動カサレタルヤニ思考セラルルニ付或ハ見込アルヤモ知レス（此ノ點支那側ニ洩レテハ日本ニ内通スト思ハルルニ付暫時極秘ニ願フト附言ス）ト言ヘルニ付本使ヨリ總稅務司署費用負擔ニ付テモ其ノ結果ヲ待ツモ一案ナリト述ヘタル處彼ハ何レニシテモ金額モ少ク或ハ七月以降ニテモ宜シキニ付總稅務司署費用ノ支拂ハルル様配慮アリ度シトテ引取りタリ尙「メ」ハ日本占領地稅關ヨリノ外債「クオータ」支拂方ニ付テハ言及セス又團匪賠償金對日支拂ニ付「カー」及「ホールバツチ」ヨリ漢口ニ於ケル工作ノ結果ヲ聞キタルヤト質問セルニ對シ「メ」ハ何等聞キ居ラサル旨答ヘタリ北京、天津ヘ轉電セリ

740 昭和14年1月16日

在英國重光大使より  
有田外務大臣宛(電報)

日本の中国關稅收入外債担保部分支払い拒絶  
および重慶政權の内外債支払い停止に関する

報道振り報告

付記一 昭和十四年一月十八日、文化事業部第一課作

成

「國民政府ニ依ル外債元利支拂停止竝ニ膠濟

鐵道國庫證券未拂問題」

二 昭和十四年一月二十五日、北京關係者會議決

定

「占領地域内海關收入處分要綱」

三 昭和十四年三月八日付在中国湯本(武雄)海外

駐劄財務官より大野(龍太)大蔵次官宛公信北

支第二四号

華北海關收入預金使用方法要綱等の決定につ

いて

ロンドン 1月16日後発

本省 1月17日前着

第四二號

十五日上海發「タイムス」特電ハ十四日日本大使館ハ重慶

政府カ團匪賠償金未拂金ヲ日本側ニ支拂ヒ且客年五月ノ海

關問題ニ關スル日英協定ノ條項ヲ實行セサル限り外債擔保

部分支拂ヲ拒絶スヘキヲ發表セル旨竝ニ重慶政府ハ海關收

入ノ約三分ノ二カ日本軍占領區域ニテ徵收セラルルニ至レ

ルニ拘ラス一切ノ内外債支拂ヲ行ヒ來リ(對日團匪賠償金

ノミハ英國銀行ノ特別勘定ニ預入ス)今日迄二一億七千五

百萬弗ヲ「アドバンス」シタルモ遂ニ支拂ヲ停止スルニ決

シタルモノナル旨ヲ報シ又十六日上海發路透ハ本件支那側

決定ハ同地金融界ニ衝動ヲ與ヘ支那カ前記日英協定ヲ受諾

セサル限り日本ハ何等ノ支拂ヲ爲ササルヘク公債所持者ハ

利拂ヲ受ケサルコトナルニ鑑ミ支那人銀行家ハ支那カ單

獨支拂ヲ爲シ得サル以上日英協定ヲ受諾スル外ナキ旨ヲ重

慶ニ電報方協議中ナリト報シ居レリ

本件ハ當地ニテモ注意ヲ惹キ居ルニ付最近ノ事情電報アリ

タシ

(付記一)

國民政府ニ依ル外債元利支拂停止竝ニ膠濟鐵道

國庫證券未拂問題

國民政府ハ一月十五日突如海關收入ヲ擔保トスル外債ノ元

利支拂停止ノ意向ヲ聲明スルニ至リタル處右聲明ニ依レハ

國民政府ハ爾後(イ)中央銀行ノ當座貸越ニ依ル外債ノ支拂ハ

之ヲ許サス又(ロ)未占領地各海關ノ收入ヨリ分擔金ハ之ヲ定期ニ中央銀行ニ特別預金トシテ繰入ルルコトトナリタル趣ナルヲ以テ果シテ然ラハ客年九月以降國民政府ニ於テ實行シ來リタル團匪賠償金對日支拂分ノ香上銀行供託ハ本月以降中絶スルコトトナル次第ナリ

帝國政府ニ於テハ右事態ニ對シ適宜ナル措置ヲ執リ得ルニ至ル迄支那側ヨリ團匪賠償金ノ支拂ヲ受クヘキ道ハ杜絶スル次第ナルヲ以テ外務省文化事業部トシテハ豫算ノ遂行竝ニ編成上大藏當局ト協議ヲ遂ケ置ク要アリ尙膠濟鐵道國庫證券償還支拂問題ニ付テ帝國政府トシテ北支交通會社ノ業績ヲ見タル上臨時政府ヲシテ解決ニ當ラシムヘキモ茲二三、四年本問題ノ解決ヲ見ルモノトハ思考セラレス

以上

## (付記二)

占領地域内海關收入處分要綱

一四、一、二五 北京關係者會議

## 一、方 針

占領地域内海關收入ハ外債元利拂ノ分擔額、海關地方經

費及總稅務司署經費分擔額ヲ控除シタル剩餘ヲ日本側管理ノ下ニ臨時政府ニ於テ使用スルモノトス

## 二、要 領

(イ)海關收入ハ輸出入稅、轉口稅、收入附加稅及水災附加收入ヲ合シタルモノトス

(ロ)關稅擔保外債ノ元利拂ノ爲北支各海關ノ分擔スヘキ額(昭和十三年二月分迄<sup>(マ)</sup>以前ハ外債ヲ分擔セス)竝ニ海關地方經費及總稅務司署經費ノ分擔額ヲ除キタル剩餘ヲ使用スルモノトス

(ハ)右控除セラルヘキ外債分擔額及總稅務司署經費分擔額ハ聯銀券ニ依リ(法幣ト「バー」ノ計算ニテ)積立テ置クモノトス

(ニ)海關收入ハ預託銀行ヲシテ内密ニ能フ限り外貨ニ換フル措置ヲ執ラシムルモノトス

(ホ)剩餘額全部ヲ使用スルコトハ成ル可ク之レヲ避ケ又使用スヘキ額ハ大體之ヲ限定スルモノトス

(ヘ)使用スヘキ剩餘ハ原則トシテ海關長ヨリ臨時政府ニ正式ニ引渡サシムルモノトス(尤モ右引渡ニ總稅務司ノ同意ヲ要シ且其ノ同意ヲ得サル場合ハ關稅收入預金ヲ

見返リニ借入レヲ爲ス方法モアルヘシ)

(ト)正金ニ預金シアル實在額ト別紙調書(省略)ノ數額ト一致スルヤ否ヤニ付テハ改メテ大使館ニテ確メルモノトス

(付記三)

北支第二十四號

昭和十四年三月八日

海外駐劄財務官 湯本 武雄

大藏次官 大野 龍太殿

北支海關收入預金使用ニ關スル件

首題ニ關シ北支海關收入預金使用方法要綱(別紙第二)及中華民國臨時政府、橫濱正金銀行間ノ借款契約書案(別紙第二)(省略)ヲ決定仕候間及御送付候也

追而右要綱ノ内日本側ノ内部關係ニ關スル部分ヲ削除シ別紙第三(省略)ノ如ク修正ノ上杉山部隊參謀長ヨリ臨時政府行政委員長宛送付スルト共ニ橫濱正金銀行天津支店支配人ニ宛テ臨時政府ニ對スルモノト同文ヲ添附ノ上別紙第四(省略)ノ通牒ヲ發シ候尙本件取運ビニ關スル手續別紙第五(省略)ノ通諒解成立候間右書類併而及御送付候也

添付書類

別紙第一、北支海關收入預金使用方法要綱

〃 第二、中華民國臨時政府、橫濱正金銀行間ノ借款契約書案

〃 第三、北支海關收入預金使用方法要綱(但臨時政府及正金天津支店支配人宛送付分)

〃 第四、海關預金ヲ見返トスル中華民國臨時政府ニ對スル貸付金ニ關スル橫濱正金銀行宛通牒

〃 第五、海關預金見返貸付金ニ關スル手續

別紙第一

北支海關收入預金使用方法要綱

(一)方針

北支海關收入預金中一千二百萬圓ハ直ニ之ヲ引出シ臨時政府ノ財源トシテ使用スルヲ得ザルニ付臨時政府ハ該預金ヲ引當トシテ左ノ要領ニ依リ橫濱正金銀行ヨリ借入ヲ爲シ其ノ目的ヲ達セントス

(二)要領

(イ)臨時政府ハ後日同政府カ支拂ヲ受ケ得ル北支海關收入

預金中一千二百萬圓ヲ引當トシテ橫濱正金銀行支店ヨリ一千二百萬圓ノ借入ヲ爲スモノトス

(ロ)臨時政府ガ北支海關收入ノ支拂ヲ受ケタル時ハ其ノ金額ノ限度ニ於テ遲滞ナク本借入金ヲ返濟スルモノトス  
(ハ)借入金ノ利率ハ北支海關收入預金ニ對シ橫濱正金銀行ノ支拂フ利率トス

(ニ)本借入金中蒙疆政府ニ對シ支拂フベキ二百萬圓ハ臨時政府ヨリ之ヲ蒙疆政府ニ貸付タルコトトシ其ノ償還方法及利率ハ前記(ロ)及(ハ)ノ條件ヲ準用ス

(ホ)日本政府ハ橫濱正金銀行ニ對シ將來如何ナル事態發生スルモ同行ガ右貸出ニ因リ何等支障ヲ受ケザル様措置スベキ旨ノ念書ヲ同行ニ交付ス

(ヘ)北支海關收入預金ヲ預リ居ル橫濱正金銀行北支各店ハ該預金ノ名義人が預金ノ拂出ヲ受ケントスル場合ハ所在地ノ外務官憲ノ承認ヲ受ケルコトヲ要ス

(三)本措置ハ實行上不便尠カラザルヲ以テ關係當局ハ可及的速ニ海關收入預金ヨリ本借入金ヲ振替決濟シ得ル様考慮スルモノトス

(四)本措置ノ實行ニ付テハ中央ノ承認ヲ要スルヲ以テ之ガ連

絡ヲ爲スト共ニ承認アリ次第直チニ實行シ得ルヤウ準備シ置クモノトス

741 昭和14年4月1日 興亜院會議決定

「救國反共同盟會(註、汪工作)ノ所要經費ニ關スル件」

救國反共同盟會(註、汪工作)ノ所要經費ニ關スル件

昭和十四年四月一日

興亞院會議決定

一、救國反共同盟會ノ運動ニ要スル費用ハ海關剩餘金ヲ以テ充當スルヲ建前トシ之ニ要スル金額ハ四月以降六ヶ月(月額三〇〇萬元以内)計壹千八百萬元以内トシ爾後ノ經費ハ救國會ヲシテ自ラ調達セシムルヲ本則トスルモ要スレハ改メテ研究ス

但シ當初ノ一ヶ月分三百萬元(圓カ元ニ對シ打歩ヲ生シタルトキト雖モ三百萬日本圓以上ハ支出セス)ヲ限り日本側(陸軍機密費支辨)ヨリ支出スルモノトシ之カ外貨ヘノ交換ヲ要スル場合ハ陸軍省ヨリ大藏省ニ諒解ヲ求ムル

モノトス

二、海關剩餘金ノ使用ニ當リテハ機密保持上日本側ノ名ヲ用  
フ

三、海關剩餘金ヲ以テスル資金千五百萬元ハ差シ當リ中支ニ  
於ケル海關剩餘金ヲ以テ之ニ引キ充ツ

其支出時期ハ差シ當リ本年五月以降五ヶ月間ト豫定ス、  
右金額ハ中支海關剩餘金ヲ見返ヘリトシ日本政府ノ保證

ニヨリ正金銀行ヨリ借入レノ形式ヲトリ之ヲ救國反共同  
盟會ノ運動ヲ指導スル現地日本側責任者ニ交付スルモノ  
トス

本借入金ハ適當ノ時機ニ支那側政府ヲ指導シ正金銀行ニ  
返済(又ハ整理)セシムル如ク措置スルモノトス

諒解事項

一、最初ノ一ヶ月分トシテ必要ナル法幣ハ中支海關預金トシ  
テ橫濱正金銀行ノ受入レタル法幣中ヨリ市場相場ニ依リ  
之ヲ買取りテ調達スルコト

此ノ場合同行ノ圓買法幣賣ニ伴フ爲替相場上ノ危險ハ之  
ヲ同行ノ負擔ニ歸セシメザル様日本政府及現地海關預金  
管理者(上海陸軍特務部本部長、上海海軍特務部長及上

海總領事)ニ於テ保障スルコト

二、最初ノ一ヶ月分トシテ第三國通貨ヲ必要トスル場合ハ右  
法幣ヲ市場ニテ賣却シテ之ヲ調達スルコト

三、第二回以後ノ交付金ノ調達ニ付テハ其ノ形式ヲ本工作現  
地責任者名義法幣借入金トシ且其ノ金額ニ相當スル中支  
海關預金ヲ見返リト爲スコトヲ日本政府及現地海關預金  
管理者ニ於テ橫濱正金銀行ニ對シ承認スルコト

四、右交付金トシテ法幣以外ノ通貨ヲ必要トスル場合ハ前記  
二ノ場合ニ準ジ法幣ヲ賣却シテ之ヲ調達スルコト

五、前記二及四ノ法幣賣外貨買(圓買ヲ含ム)ノ所作ニ付テハ  
橫濱正金銀行ヲシテ其ノ衝ニ當ラシメ且我方ノ通貨工作  
上支障ナキ時期及方法ヲ擇ブコト

六、本工作上物資ヲ必要トスル場合ハ極力本邦物資ニ依リ之  
ヲ調達スルコト

以上

742

昭和14年5月18日

興亞院が作成した「支那關稅率暫定改正準備

要綱

支那關稅率暫定改正準備要綱

昭和十四年五月十八日

總務長官決裁

(關係省諒解)

第一方針

支那現行關稅率ノ根本的改正ハ可及的速ニ之ガ實現ヲ期スルノ要アル處現下諸般ノ情勢ニ鑑ミ右ハ尙暫ク事態ノ推移ニ俟ツコトトシ差當リハ中支經濟工作ノ必要ヲモ考慮シ左記要領ニ依リ輸入稅率中特ニ緊急改正ヲ要スト認メララルモノニ付之ガ改正草案ノ作成ヲ急速準備スルモノトス

第二要領

一、主トシテ左記ノ如キ稅率ニ付合理的の改正ヲ行フコトトスルモ特ニ日滿ヨリノ重要輸入品ニ關シテハ諸外國品トノ關係上慎重檢討ヲ加フルト共ニ新政權財政ノ確立、支那産業ニ及ホス影響及本邦輸出力ノ現勢等ニ付十分考慮ヲ拂フモノトス

- (一) 一九三四年度稅率ニ比シ著シク高率トナリタルモノ
- (二) 生活必需品ノ稅率ニシテ民生安定上特ニ改正ノ要アル

モノ

- (三) 排日の色彩尙顯著ニシテ貿易ノ伸長ヲ阻碍シアルモノ
- (四) 經濟復興並開發上特ニ引下ノ要アルモノ
- (五) 滿洲國稅率ニ比シ著シク差異アル爲密輸入ヲ誘發スル

惧アルモノ

- (六) 品目ノ分類適正ナラズ又從量、從價ノ權衡ヲ失シ特ニ改正ノ要アルモノ

二、關係各廳及現地連絡部ヨリ提出セル調査資料並改正案ヲ基礎トシ興亞院ニ於テ一應ノ草案ヲ作成シタル上、右草案ヲ中支經濟工作促進委員會商權關係分科會ニ附議スルモノトス

三、稅率改正實施ノ時期ハ本年六月末ヲ目途トシ同月中旬迄ニ之ガ所要ノ調査並立案ヲ完了セシムルモノトス

備考  
本件調査ニ基ク改正案ノ實行方ニ付テハ別途考究スルモノトス

743  
昭和14年6月23日  
興亜院會議決定

「吳工作所要經費ニ關スル件」

吳工作所要經費ニ關スル件

昭和十四年六月二十三日

興亞院會議決定

吳工作ニ要スル經費ハ曩ニ決定セラレタル救國反同盟會  
所要經費ノ件ニ準シ左記ノ如ク支出ス

左記

一、六月以降ノ吳工作ニ要スル費用ハ海關剩餘金ヲ以テ充當  
シ之ニ要スル金額ハ六月以降五ヶ月(月額二〇〇萬元以  
内)計壹千萬元以内トシ爾後ノ經費ハ改メテ研究ス

二、海關剩餘金ノ使用ハ當分日本側ノ名ヲ用フ

三、月額二百萬元ハ北支及中支ニ於ケル海關剩餘金ヲ折半ニ  
引キ充ツルモノトシ其交付ニ方リテハ本工作現地日本側  
責任者名義借入金トシ且其金額ニ相當スル海關預金ヲ見

返ヘリト爲スコトヲ日本政府及現地海關預金管理者ニ於  
テ横濱正金銀行ニ對シ承認スルモノトス

本借入金ハ適當ノ時機ニ支那側政府ヲ指導シ正金銀行ニ  
返済(又ハ整理)セシムル如ク措置スルモノトス

四、右交付金ハ北支ノ分ハ聯銀券、中支ノ分ハ法幣トシ法幣

賣圓買ノ所作ニ付テハ横濱正金銀行ヲシテ其衝ニ當ラシ  
メ且我方ノ通貨工作上支障ナキ時期及方法ヲ擇フモノト  
ス

744 昭和14年9月29日 興亞院會議決定

「特種工作所要經費追加ニ關スル件」

特種工作所要經費追加ニ關スル件

昭和十四年九月二十九日

興亞院會議決定

一、特種工作所要經費ハ昭和十四年四月一日興亞院會議決定

ニ於テ差當リ本年五月以降五ヶ月間ト豫定セラレタルモ  
工作ノ現況ニ鑑ミ更ニ昭和十四年十月以降新中央政府樹  
立迄毎月月額四百萬元ヲ支出ス

二、右經費支出ノ要領ハ前記興亞院會議決定ノ要領ニ同シ  
三、軍事工作進展シ有力ナル軍隊ノ寢返リ來リタル場合ノ經  
費ニ關シテハ別途詮議スルモノトス

745 昭和15年2月27日 有田外務大臣より  
在上海加藤公使宛

上海海關剩餘金を充当した新中央政府に対す

る四千万元貸付けについて

付記 昭和十五年三月十二日、梅機閣作成

「中央政府樹立直後ニ於ケル海關剩餘利用ニ

關スル件」

亞一機密第六號

昭和十五年二月二十七日

外務大臣 有田 八郎

在上海

特命全權公使 加藤 外松殿

汪ニ對シ上海海關剩餘金ヲ見返トシテ貸付ヲ爲スノ件

本件ニ關シ二月十九日興亞院會議ニ於テ別紙寫甲號ノ通り

決定セラレタルニ付御了知相成度シ

尙橫濱正金銀行ヨリ新中央政府ニ對スル四千萬元貸付ノ條

件ニ付テハ二十一日興亞院主任者會議ニ於テ別紙寫乙號ノ

通り決定セラレ近ク持廻リニ依ル興亞院會議ニ於テ決定ヲ

見ル可キ豫定ニ付御含置相成度シ

本信寫送付先 上海、北京

甲 號

汪ニ對シ上海海關剩餘金ヲ見返トシテ貸付ヲ爲スノ件

昭和十五年二月十九日

興亞院會議決定

汪ニ對シ橫濱正金銀行ヲシテ其ノ保管ニ係ル上海海關剩餘  
金ヲ見返トシテ四千萬元ヲ限度トスル所要ノ金額ノ貸付ヲ  
爲サシム

右金額ノ引出其他ノ具體的條件ハ別ニ之ヲ定ム

乙 號

橫濱正金銀行ヨリ新中央政府ニ對スル四千萬元

貸付ノ條件(興亞院會議決定案)

昭和十五年二月二十一日

興亞院主任者會議決定

昭和十五年二月十九日興亞院會議決定「汪ニ對シ上海海關  
剩餘金ヲ見返トシテ貸付ヲ爲スノ件」第二項ニ依リ貸付ノ  
條件ヲ左ノ如ク定ムルモノトス

一、新中央政府成立ト同時ニ之ニ對シ横濱正金銀行ヨリ四千萬元ヲ貸付ケ新中央政府ハ之ヲ其ノ儘同銀行ニ預金シ必要ノ都度引出スコト

二、右貸付金ハ無利子無擔保トシ且右預金ハ無利子トスルコト

(備考)

(一) 本件預金引出ニ備フル爲日本側含ミトシテ横濱正金銀行ヲシテ左記ニ依リ支拂準備ヲ爲サシムルコト

三月十日(新中央政府成立ノ日) 千五百萬圓

四月十日 千 萬 圓

五月十日 千 萬 圓

六月十日 五百萬圓

(二) 支拂準備ノ期日及金額ハ右(一)ノ如ク豫定スルモ出來得ル限り節約ヲ圖リ且原則トシテ之ヲ臨時的經費ニ充テ經常的經費ニハ充テシメサル様支那側ヲ指導スルコト

(三) 一應法幣ニテ支拂ヲ準備スルモ出來得ル限り法幣ニ代ヘ軍票又ハ華興券ヲ受領セシムル様支那側ヲ指導スルコト

(四) 前二項ニ關聯シ右(一)ノ範圍内ニ於ケル更ニ具體的ノ支

拂期日、金額及金種ハ爾後梅機關(新中央政府成立後ハ其ノ指導機關)ニ於テ事前ニ横濱正金銀行ニ連絡スルコト

(付記)

中央政府樹立直後ニ於ケル海關剩餘利用ニ關スル件

昭和五、三、三 梅機關

一、諸般ノ情勢ニ鑑ミ中央政府樹立後少クトモ當分ノ間ハ海關側乃至一般第三國側ヲシテ海關收入ニ對スル中央政府ノ管理處分權ヲ認メシムルコト實際上至難ト認メラルルニ付中央政府ノ海關收入利用ハ不取敢正金銀行ニ於ケル海關剩餘預託金ヲ見返リトシテ貸付ヲ受クルノ方法ニ依ラシムルノ外ナシト思料セラレ

二、然レトモ中央政府ニ對スル日本側指導ノ施策的見地ヨリスレハ日本側ヨリ中央政府側ニ對シ最初ヨリ前記ノ如ク正金銀行ヨリ貸付ヲ受クルノ方法ヲ強調シ之ヲ強要スルカ如キ態度ヲ示スコトハ面白カラス蓋シ右ノ如キ態度ヲ示ストキハ日本側ニ於テ海關收入ニ對スル中央政府ノ管理處分權ノ直接ノ行使ヲ否認スルノ意圖ヲ有スルニアラ

スヤトノ誤解ヲ生セシメ延ヒテハ日本側ニ於テ中央政府ノ獨立性ヲ認メス之ヲ傀儡的存在トシテ取扱ハントスルノ魂膽ヲ包藏スルカ如キ印象ヲ與ヘ中央政府ノ前途ニ對スル希望ヲ失ハシムルノ虞アルヲ以テナリ

三、仍テ右ノ如キ日本側ノ眞意ニ反スルカ如キ面白カラサル結果ノ發生ヲ避ケ且中央政府側ヲシテ海關收入利用ニ付テハ結局少クトモ當分ノ間前記ノ如ク正金銀行ヨリ貸付ヲ受クルノ方法ニ依ルノ外ナキコトヲ自然ニ納得自覺セシムル爲中央政府側自身ヲシテ一應海關側ニ對シ日本側ノ協力ノ下ニ直接所要ノ折衝ヲ試ミ其ノ結果ヲ見セシムルコト可然

備考 本件第一號ニ依リ海關剩餘預託金ヲ見返リトスル貸付ヲ見ル迄ハ二月十九日及同月二十九日興亞院會議決定ノ貸付金ヲ其預金引出月割ノ範圍ニ於テ中央政府經常費ノ財源ニ流用セシムルモノトス

746

昭和16年10月9日  
在上海堀内総領事より  
豊田外務大臣宛(電報)

総稅務司署の接收や各地海關把握の強化など

非常時における中国海關対策の具体案を軍および興亞院関係者と協議について

上海 10月9日後發  
本省 10月9日夜着

第一八六三號

貴電合第二〇四一號ニ關シ(支那海關接收準備對策ニ關スル件)

九日午前陸、海、興亞院及南京大使館係官ノ參集ヲ求メ豫メ當館ニ於テ作成セル非常時支那海關對策具體案ニ基キ(一)總稅務司署接收(二)一般人事對策(三)退職金問題(四)上海海關把握強化(五)各地海關把握強化ノ五項目ニ依リ協議ノ結果夫々具體的對策要領ノ打合ヲ了シタリ(委細郵報)  
尙非常時ニ於ケル總稅務司署及各地海關ノ人事配置案ニ付テハ引續キ研究立案ノ上具體案決定次第報告ス  
南京、天津、青島、廣東、厦門、海口ハ轉電セリ

747

昭和16年11月13日  
在上海堀内総領事より  
東郷外務大臣宛(電報)

非常時における中国海關機構ならびに人事対

策具体案の決定について

別電 昭和十六年十一月十三日発在上海堀内総領事

より東郷外務大臣宛第二〇八六号

右具体案要領

上海 11月13日後発

本省 11月13日夜着

第二〇八五號

貴電第一一二七號及往電第一八六三號ニ關シ

十二日陸海興亞院係官ノ參集ヲ求メ當館作成ノ非常時海關機構竝ニ人事對策案(要旨別電第二〇八六號御參照)ニ付協議セル處陸海側ニ於テハ大體右ニ異存ナカリシモ興亞院係官ヨリ岸本ヲ總稅務司ニ豫定セル點ニ付再考ノ餘地アル旨及新規海關員採用ノ要ナシトノ點ニ付重要地位ニ邦人海關員配置ノ爲相當數ノ海關員新規採用ノ要アル旨意見開陳アリ右ニ對シ當館係官ヨリ閱歷竝ニ能力ノ點ヨリ見テ岸本ヲ總稅務司トスルコトニ反對スヘキ理由ナキヲ以テ現地案トシテ出來得レハ之ヲ確定シ置キ度キコト及非常時機ニ於テハ貿易ノ激減豫想セララルル處斯ル場合冗員ハ極力淘汰シ海關經費ノ節減ヲ計ル要アリ且ツ本案ニ依ルモ重要地位ニハ

一應全部邦人ヲ配置スルコトトナリ居ルコト竝ニ本案ハ非常時突發ノ際ノ應急案ニテ爾後ノ海關把握強化ニ付テハ別途適宜措置ノ要アルハ勿論ナルヘキコト等説明シ置キタル趣ナリ委細別途空送ス

別電ト共ニ南大、北大、天津、青島、廣東、厦門、海口へ

轉電セリ

(別電)

上海 11月13日後発

本省 11月13日夜着

第二〇八六號

非常時海關機構及人事配置具體案要領左ノ通

一、總稅務司署、上海海關竝ニ海務部ノ機構ハ現狀通リトス

ルコト

二、總稅務司ニハ岸本ヲ豫定シ又岸本ノ現地位タル首席稅務

司ニハ同人ノ信賴スル邦人海關員ヲ配スルコト

三、上海海關長ニハ赤谷ヲ又次席ニハ小山田ヲ配スルコト

四、總稅務司署ニ於テ罷免スヘキ敵性國人「メーズ」以下英

人十一名米人三名上海海關ニ於テ罷免スヘキ者「ローフ

オード」以下英人六十名米人二十名海關海務部ニ於テ罷免スヘキ者英人六名(他ニ同部所屬技師英人二名及占領地區内各地燈臺管理員英人八名アルモ是等ハ強テ罷免ノ要無カルヘキコト)

罷免者ノ地位ハ現海關員ノ合理的配置ニ依リ之ヲ補充シ新規海關員ノ採用ノ必要無キコト

五、各地海關ノ機構ハ現狀通りトシテ且罷免者ノ地位ハ現海關員ヲ以テ補充シ新規海關員採用ノ必要ヲ認メサルコト

六、當面ノ非常事態經過後ニ於ケル支那海關ニ對スル我方把握量ノ強化ニ付テハ必要ニ應ジ適宜處置スヘキコト

